

高麗 2011 ユーザーズ・ガイド

開封前に必ずお読みください

本ソフトウェアは、お客様が下記のソフトウェア使用許諾契約にご同意いただいた場合にご提供いたします。このパッケージを開封する前に、下記の契約条項を十分にお読み下さい。

本ソフトウェアのパッケージを開封された場合は、勝手ながら、お客様が下記契約に同意いただけたものとし、本契約は成立します。パッケージ開封後は本契約に基づき直ちにユーザー登録を行ってください。ご登録ユーザー様に限り、バージョンアップその他のサポートをさせていただきます。

なお、本契約条項にご同意いただけない場合は、未開封のまま、速やかに本製品をお買い上げの販売店にご返却ください。

ソフトウェア使用許諾条項

株式会社クロスランゲージ(以下、クロスランゲージという)が作成したソフトウェア(以下、製品という)のご使用に当たり、お客様は以下の条項にご同意いただきます。

1. 本契約はお客様がパッケージを開封したときから発効します。
2. 製品の著作権などすべての権利は、明示的に付与したものを除きクロスランゲージに帰属します。クロスランゲージはお客様に対して、本条項に従って非独占的に使用できる譲渡不能の制限付き使用权を許諾します。
3. お客様は一台のコンピュータシステムでお客様自身に限り製品を使用することができます。なお、本ソフトウェアの使用者がお客様ご自身に限られている場合は、本ソフトウェアを同時に使用しないという条件で、お客様のみが使用する他のコンピュータにインストールすることができます。
4. クロスランゲージはお客様に対して、以下のことを禁止します。
 - (1)お客様が製品を改変あるいはプログラムの解析(リバースエンジニアリング)をすること。
 - (2)お客様が第三者に対して、製品を譲渡または貸与すること。
5. お客様は製品の受け渡し日から一箇月以内にディスクや印刷物の物理的な障害を発見したときには、交換を要求することができます。
6. クロスランゲージは製品を使用した結果に関しては、いかなる保証もおこないません。また翻訳成果物を何がしかの編集をせず公表・販売・頒布することは著作権法に抵触する恐れがありますのでお止めください。
7. お客様が本条項に違反した場合は、クロスランゲージからの使用許諾権は、自動消滅するものとします。この場合、お客様は受領した製品の全て(バックアップを含めて)をクロスランゲージに返却していただきます。なお、返却のための費用はお客様で負担していただきます。

■ 著作権

本製品の仕様は、改良のために予告なく変更することがあります。

本製品を日本国外に携帯するには、輸出貿易管理令等の関係法令にご留意ください。

Windows, Microsoft, Excel, PowerPoint, Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

KJ/JK Translation Engine: Copyright (C) 2002-2010 Cross Language Inc. and CSLI Co., Ltd.

All rights reserved.

本マニュアルおよび製品で使用している社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品の著作権：©株式会社クロスランゲージ、ユニコテック株式会社(すらすらボイス(韓国語))

■ はじめに

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。本書では、製品の使い方や使用上の注意事項について記載しています。ご使用前に本書をご一読の上、正しくお使いください。

■ 本書の構成

本書では「高麗 2011」（以降、「高麗」と表記します）の機能を説明しています。
なお、共通する部分の説明では、韓日翻訳の画面を貼付しています。
マニュアルの最後には索引があります。

■ 翻訳結果について

基本語辞書や文法ルールは逐次改良が加えられているため、画面に表示される結果は、本書の画面や説明文中にある翻訳結果とは必ずしも一致しません。
翻訳結果は、翻訳に関する設定や使用している専門語辞書によって異なります。

■ 本書で使用している記号やマークについて

本書で使用している記号やマークは次のとおりです。

• 記号について

[ファイル]	メニュー名を示します。
[ファイル]ー[開く]	「ファイル」メニューの「開く」コマンドを選択することを示します。
〈登録〉	ダイアログボックスにあるボタン名を示します。
『 』	参照ページのタイトルを示します。（例）『1.2 動作環境』を参照してください。

• マークについて



注意事項です。



ヒント

備考事項や補足説明です。

目 次

1 高麗について.....	1
1.1 高麗の主な機能.....	1
1.2 製品ラインナップ.....	3
1.3 オンラインヘルプの使い方.....	3
2 翻訳エディタ入門	4
2.1 翻訳エディタの起動と終了.....	4
2.1.1 翻訳エディタの起動.....	4
2.1.2 翻訳エディタの終了.....	5
2.2 韓国語を日本語に翻訳する.....	6
2.2.1 テキストファイルの翻訳.....	6
2.2.2 単語の対応と訳語の変更.....	7
2.2.3 ユーザー辞書に単語を登録する.....	9
2.2.4 韓国語をカタカナやアルファベットに変換する.....	11
2.2.5 翻訳結果の保存.....	12
2.3 韓日韓モード.....	13
3 アプリケーションの翻訳.....	14
3.1 Microsoft Officeアドイン翻訳.....	14
3.1.1 アドイン翻訳の起動と翻訳言語の選択	14
3.1.2 Wordの翻訳.....	15
3.1.3 Excelの翻訳.....	16
3.1.4 PowerPointの翻訳	17
3.1.5 アドイン翻訳機能の有効と無効	18
3.2 ホームページの翻訳.....	19
3.2.1 翻訳の前に.....	19
3.2.2 ホームページを翻訳する	21
3.2.3 ホームページの翻訳検索.....	22
3.3 メール翻訳.....	26
3.3.1 メール翻訳の実行.....	26
3.4 PDFダイレクトファイル翻訳.....	28
3.4.1 PDFダイレクトファイル翻訳の実行.....	28
3.4.2 PDFダイレクトファイル翻訳の有効と無効.....	29
4 翻訳パレット入門	30
4.1 翻訳パレットの起動と終了.....	30
4.1.1 翻訳パレットの起動.....	30
4.1.2 翻訳パレットの終了.....	31
4.2 翻訳エディタ.....	32
4.3 ファイル翻訳.....	32
4.3.1 ファイル翻訳を実行する	32
4.3.2 ファイル翻訳の設定	34

4.4	キャプチャ翻訳	35
4.4.1	キャプチャ翻訳の実行	35
4.4.2	キャプチャ翻訳の編集作業と表示機能	37
4.5	ワンポイント翻訳	38
4.6	OCR	39
4.7	翻訳パレットの設定	40
5	翻訳エディタの機能	41
5.1	日本語を韓国語に翻訳する	41
5.1.1	日韓日モードで翻訳する	41
5.1.2	単語の対応と訳語の変更	43
5.1.3	ユーザー辞書に単語を登録する	45
5.1.4	韓国語をカタカナやアルファベットに変換する	47
5.2	文書の読み込みと書き出し	48
5.2.1	テキストファイル読み込み時のモード	48
5.2.2	翻訳結果の保存	49
5.2.3	ファイルの種類	49
5.3	ユーザー辞書の更新	50
5.4	翻訳ロック／韓日（日韓）ロック／ロック解除	53
5.5	編集機能	54
5.5.1	翻訳エディタに文章を入力する	54
5.5.2	原文や訳文の削除	55
5.5.3	文字の検索と置換	55
5.5.4	指定文ヘジャンプ	56
5.6	音声読み上げ	57
5.6.1	韓国語音声読み上げ	57
5.6.2	韓国語音声保存	57
5.7	韓国語文法チェック	58
5.7.1	韓国語文法チェックの手順	58
5.7.2	韓国語文法チェックの動作	59
5.8	アップデート	60
6	環境の設定	61
6.1	翻訳の設定	61
6.1.1	専門語辞書の設定	61
6.1.2	フォントの設定	62
6.1.3	文法チェックの設定	63
6.2	ツールバーカスタマイズ	64
6.3	ホームページ翻訳の設定	64
6.4	メール翻訳の設定	66
6.5	PDFダイレクトファイル翻訳の設定	67
6.6	ツールの設定	69
6.6.1	OCR設定 キャプチャ翻訳のみ	69
6.6.2	常駐機能	70
6.6.3	フォント	71

6.6.4 その他.....	72
付録.....	73
付録1 Officeの起動時に「セキュリティの警告」	73
付録2 韓国語IMEの設定.....	77
2-1 Windows XPの場合	77
2-2 Windows 7/Vistaの場合	79
付録3 日韓翻訳のコツ	82
付録4 カタカナ／アルファベット変換について	83

1 高麗について

この章では、高麗の機能、製品ラインナップ、ヘルプの使い方について説明します。

1.1 高麗の主な機能

高麗は、高い翻訳精度を誇る韓日・日韓双方向の翻訳ソフトです。韓日・日韓の基本語辞書と14分野の韓日・日韓専門語辞書を装備し、専門的な分野の翻訳にも対応できます。また、韓国語のホームページを日本語に翻訳したり、日本語で書いたメールを韓国語に翻訳するなど、さまざまな場でコミュニケーションツールとして利用できます。高麗の特徴は以下のとおりです。

- **文書の翻訳、翻訳結果の修正に最適な翻訳エディタ**

翻訳エディタでは、テキストファイルの翻訳、翻訳結果を適切な訳語に変更する訳語変更、変更した訳語を学習して次回の翻訳に活用する学習機能、辞書に登録のない単語や訳語を登録するユーザー辞書登録などを実行できます。

（『2 翻訳エディタ入門』参照）

- **Microsoft Officeアドイン翻訳**

Microsoft Officeに対応したアドイン翻訳では、アプリケーションに登録されたボタンをクリックするだけでWord, Excel, PowerPointに読み込んだ文書を翻訳したり、辞書引きを行うことができます。（『3.1 Microsoft Officeアドイン翻訳』参照）

- **ホームページの翻訳**

Internet Explorerで表示したWebページを、レイアウトはそのまま、本文のみを翻訳して、翻訳結果のWebページを作成します。（『3.2 ホームページの翻訳』参照）

- **メールの翻訳**

Windows Liveメール 2009、Windowsメール（Vista）またはOutlook Express（XP）で受信したメールを翻訳することができます。（『3.3 メール翻訳』参照）

- **PDFダイレクトファイル翻訳**

PDFファイルのレイアウト情報を表示し、フォント属性などによる翻訳対象文字列の設定機能によってレイアウトを保持したまま翻訳することができます。（『3.4 PDFダイレクトファイル翻訳』参照）

- **複数ファイルを一括で翻訳**

翻訳パレットの〈ファイル翻訳〉では、複数ファイルを一括で翻訳することができます。（『4.3 ファイル翻訳』参照）

- **キャプチャ翻訳**

翻訳パレットの〈キャプチャ翻訳〉では、範囲指定した画像ファイルに文字認識を実行し、翻訳することができます。（『4.4 キャプチャ翻訳』参照）

- **文字認識**

高麗 plusの翻訳パレットでは〈OCR〉でスキャナから取り込んだ画像ファイルの文字認識を実行することができます。（『4.6 OCR』参照）

- **会話の学習用に**

翻訳エディタでは、文章をネイティブスピーカーの発音で読み上げることができます。（『5.6 音声読み上げ』参照）

1.2 製品ラインナップ

高麗には、以下の製品があります。

- 高麗
- 高麗 plus

● 高麗 plusの機能

高麗 plusには、以下の機能が搭載されています。

- CROSS OCR

● 専門語辞書

すべての製品に以下の専門語辞書が搭載されています。

分野	ファイル名	語数	分野	ファイル名	語数
コンピュータ	computer	7万語	法律	law	1.4万語
電気電子	elec	6.8万語	金融	finance	3.1万語
土木建築	archi	2.1万語	機械工学	mecha	7.0万語
地球環境	ecology	2.4万語	自動車工学	car	1.0万語
医療医学	medical	8.6万語	光工学	optical	4千語
化学	chemical	8.6万語	エネルギー	energy	1.4万語
ビジネス	business	2.4万語	バイオテクノロジー	bio	5.3万語

1.3 オンラインヘルプの使い方

オンラインヘルプには高麗のすべての機能説明が掲載されています。

高麗の機能や操作手順を調べる时候にご活用ください。

オンラインヘルプを表示するには、タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]－[Cross Language]－[高麗 2011]－[ユーザーズ・ガイド]を選択します。

2 翻訳エディタ入門

翻訳エディタでは、韓日・日韓双方向の翻訳を実行して、訳語の変更、ユーザー辞書の構築などの翻訳作業を行うことができます。

この章では、翻訳エディタの使い方について、韓日翻訳を例にして説明します。

2.1 翻訳エディタの起動と終了

2.1.1 翻訳エディタの起動

- デスクトップのショートカットから起動

デスクトップに登録された高麗 2011 アイコン  をダブルクリックすると翻訳エディタが起動します。

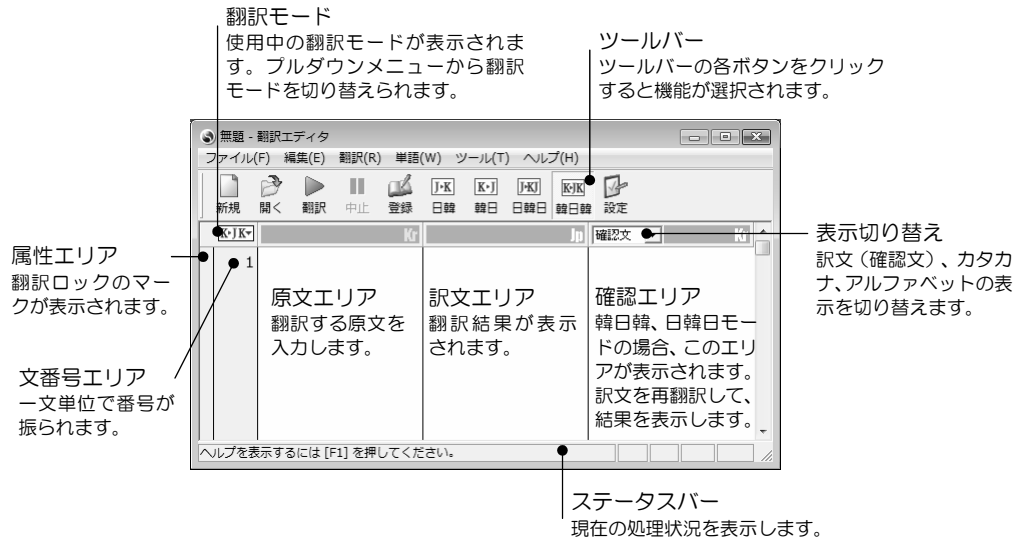
- 「スタート」メニューから起動

タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]ー[Cross Language]ー[高麗 2011]とたどると、高麗関連のメニューが表示されます。翻訳パレットはここから起動することもできます。

● 翻訳エディタ

翻訳は、以下の翻訳エディタで実行します。

ここでは、韓日韓モードを例にして翻訳エディタの項目名を説明します。



● 翻訳モードの切り替え

翻訳エディタのモードの切り替えは、ツールバーの〈日韓モード〉、〈韓日モード〉、〈日韓日モード〉、〈韓日韓モード〉をクリックして行います。

または、翻訳エディタ左上にあるモードのボタンをクリックして表示されるプルダウンメニューからも切り替えられます。



2.1.2 翻訳エディタの終了

[ファイル]－[終了]を選択すると翻訳エディタが終了します。

2.2 韓国語を日本語に翻訳する

ここでは、翻訳エディタを使って韓国語を日本語に翻訳する方法を説明します。

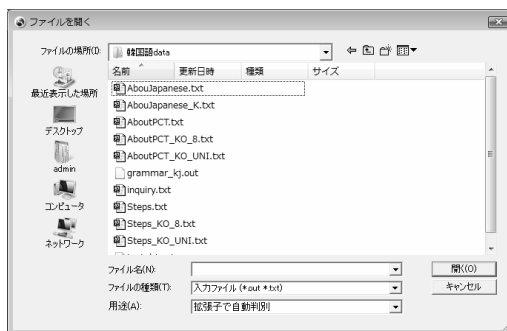
2.2.1 テキストファイルの翻訳

韓国語のテキストファイルを読み込んで翻訳する手順を説明します。
手順は以下のとおりです。

手順

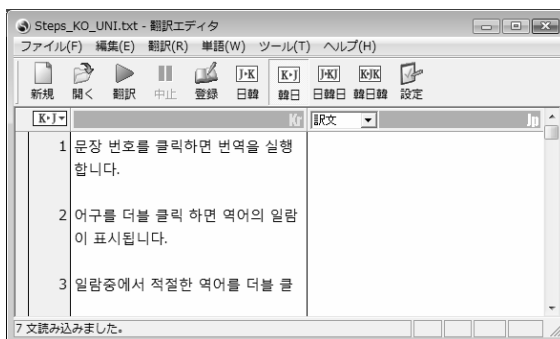
1. 韓日モードで、[ファイル]―[開く]を選択します。

ファイルを開くダイアログが表示されます。



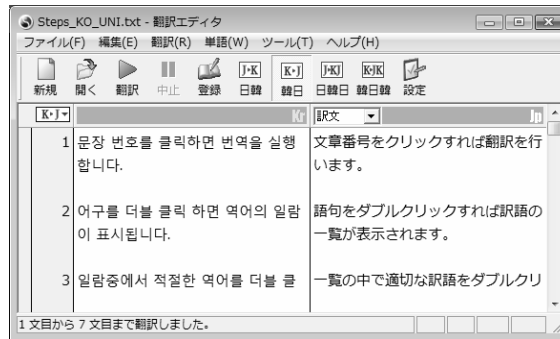
2. 翻訳するファイルをダブルクリックするか、ファイルを選択して〈開く〉をクリックします。

原文エリアに原文が読み込まれます。



3. カーソルが文書の先頭の文にあることを確認して、ツールバーの〈翻訳〉をクリックします。

翻訳が開始され、翻訳結果が訳文エリアに表示されます。



● 翻訳の中止

一括翻訳を中止する場合は、ツールバーの〈翻訳中止〉をクリックします。Escキーを押すか、[翻訳]—[翻訳中止]を選択しても中止できます。



処理中止操作をしても、実際に処理を中止するまでには、多少時間がかかる場合があります。

2.2.2 単語の対応と訳語の変更

高麗には、原文の単語がどの訳語に翻訳されたのかを確認する「単語の対応」機能と、複数の意味を持つ単語の別訳語リストを表示し、適切な訳語に入れ替える「訳語変更」機能があります。

● 単語の対応

原文の単語をダブルクリックすると、対応する訳文の単語が反転表示されます。逆に、訳文の単語をダブルクリックすると、対応する原文の単語が反転表示されます。

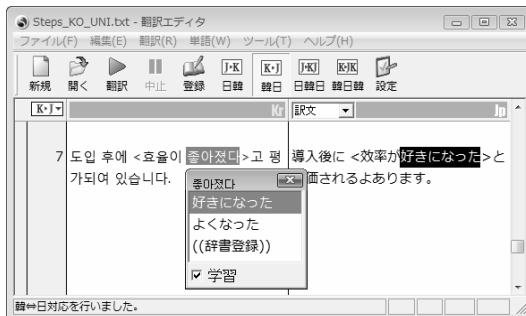
2	여구를 더블 클릭 하면 역어 의 일람이 표시됩니다.	語句をダブルクリックすれば 訳語 の一覧が表示されます。
---	-------------------------------------	-------------------------------------

● 訳語の変更

手順

1. 任意の単語をトリプルクリック(マウスのボタンを3回続けて押す)します。

訳語変更ダイアログが開き、訳語の候補が表示されます。



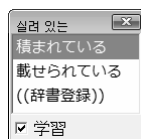
2. 適切な訳語をダブルクリックします。

7	도입 후에 <효율이 좋아졌다>고 평가되어 있습니다.	導入後に <効率がよかった>と評価されるよあります。
---	------------------------------	----------------------------

訳文エリアの語句が選択した訳語に置き換わります。

● 訳語の学習

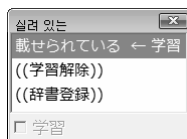
訳語変更で「学習」チェックボックスをオンにして訳語を変更した場合、変更した訳語は学習され、同じ単語が似た使われ方をすると学習した訳語が優先して使用されます。



訳語を学習させない場合は、訳語変更ダイアログの「学習」チェックボックスをオフにして、訳語変更を実行します。

- 訳語変更を元に戻す

不適切な訳語に変更すると、構文が崩れ、訳質が低下する場合があります。訳語の学習を解除するには、元の訳語に戻す単語をトリプルクリックして訳語変更ダイアログを開き、訳語ダイアログの下部にある((学習解除))をダブルクリックします。



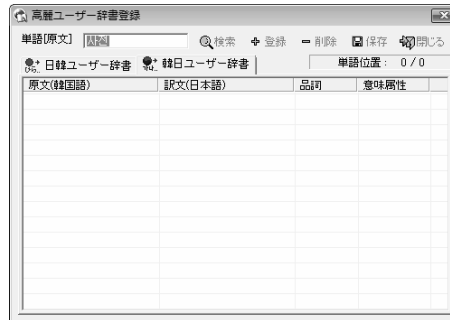
再翻訳が実行されて、元の訳語に戻ります。

2.2.3 ユーザー辞書に単語を登録する

高麗では、「基本語辞書」にない単語や訳語を「ユーザー辞書」に登録することによって翻訳結果に反映することができます。ユーザー辞書に単語を登録する手順を説明します。

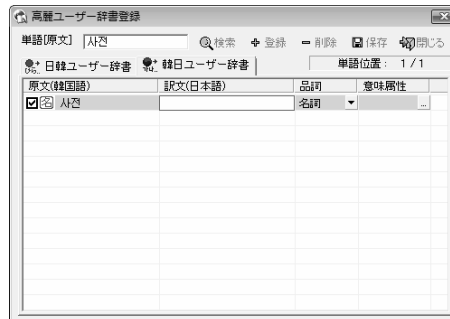
手順

1. 翻訳エディタで辞書登録する語句を選択します。
2. ツールバーの〈辞書登録〉をクリックして、辞書登録ダイアログを表示します。
3. 「単語〔原文〕」に選択した語句が入力されます。



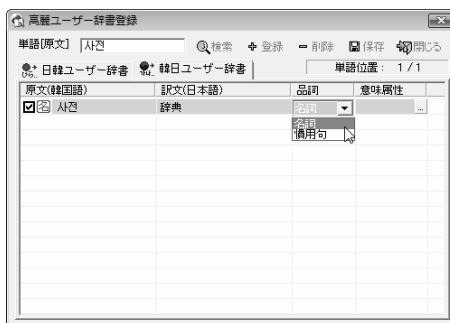
4. 〈登録〉をクリックします。

ダイアログの下段の「原文」に、新しく登録する語句が追加されます。原文には、韓国語で25文字まで入力できます。



1文字の単語はユーザー辞書に登録しても反映されないため、登録できません。見出し語には2文字以上の単語を入力してください。英数字、特殊記号、スペースは登録できません。

5. 「訳文」をクリックして訳語を入力し、「品詞」の横の▼をクリックして、プルダウンメニューから名詞または慣用句を選択します。

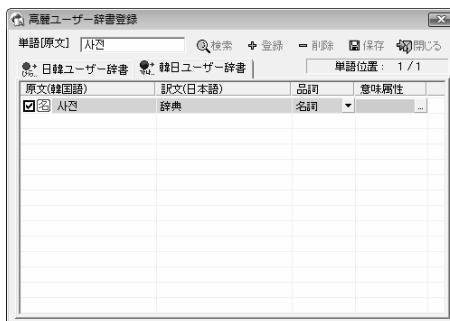


6. 単語に意味属性を付加する場合は、「意味属性」の横の ... をクリックします。

次の意味属性テーブルが表示されます。各タブをクリックすると、「固有名詞」、「有形名詞」、「無形名詞(1)」、「無形名詞(2)」のテーブルが開きます。



意味属性を追加するには、追加する意味属性の前にあるチェックボックスをオンにします（韓日ユーザー辞書の意味属性は同時に10個まで選択が可能です）。
〈OK〉をクリックすると辞書登録ダイアログに戻ります。



7. 原文の前にあるチェックボックスがオンになっていることを確かめて、〈保存〉をクリックします。
8. 〈閉じる〉をクリックします。



ヒント

【訳語変更ダイアログから辞書登録する】

訳語変更ダイアログにある((辞書登録))をダブルクリックすると、同様に辞書登録ダイアログが開きます。

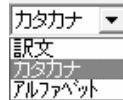
2.2.4 韓国語をカタカナやアルファベットに変換する

韓日モードの訳文エリア、また韓日韓モードの確認エリアで、原文の読みをカタカナやアルファベットに変換して表示できます。

手順は以下のとおりです。

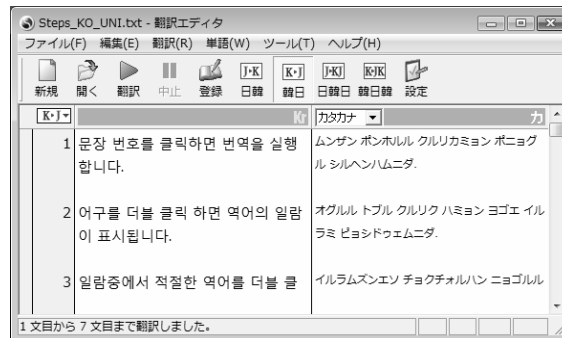
手順

1. 翻訳エディタの表示切り替えのプルダウンメニューから、「カタカナ」または「アルファベット」を選択します。

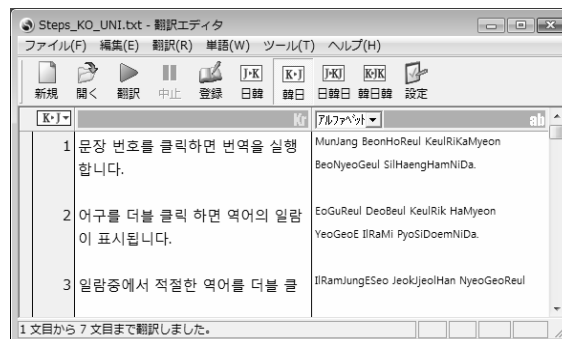


2. ツールバーの〈翻訳〉をクリックします。

韓日モードでは訳文エリア、韓日韓モードでは確認エリアに、原文の韓国語の読みがカタカナまたはアルファベットで表示されます。



(カタカナ変換の例)



(アルファベット変換の例)



【カタカナ、アルファベット変換】

カタカナ変換、アルファベット変換に関する詳細は、『付録4 カタカナ／アルファベット変換について』を参照してください。

2.2.5 翻訳結果の保存

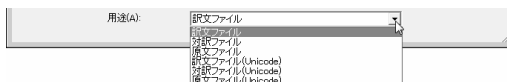
高麗では、翻訳結果の内容をテキストファイルとして保存できます。用途に合わせて原文と訳文の両方を含む「対訳ファイル」、原文のみの「原文ファイル」、訳文のみの「訳文ファイル」で保存できます。

手順

1. [ファイル]－[名前を付けて保存]を選択します。
2. 名前を付けて保存ダイアログで保存先のフォルダを開き、「ファイル名」を入力します。



3. 「用途」の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから保存する形式を選択します。



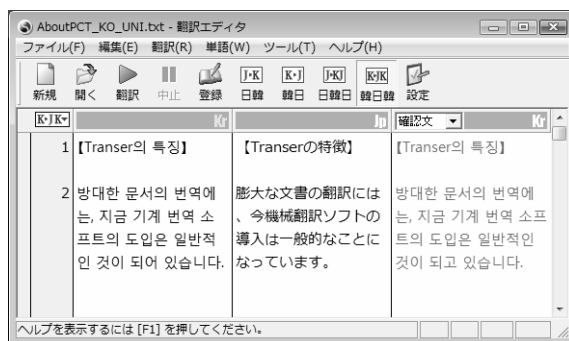
4. 〈保存〉をクリックします。

2.3 韓日韓モード

韓日韓モードでは、訳出された日本語をさらに韓国語に翻訳して、訳質を確認することができます。

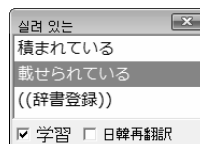
ツールバーの〈韓日韓モード〉をクリックすると韓日韓モードに切り替わります。

翻訳を実行すると確認エリアには、訳文エリアの日本語を韓国語に翻訳した結果が表示されます。



● 訳語変更で訳文を再翻訳しない

韓日韓モードでも、韓日モードと同様に単語の対応や訳語の変更を実行することができます。また、韓日韓モードの訳語変更では、訳文を再翻訳しないことができます。訳語変更ダイアログの「日韓再翻訳」チェックボックスをオフにして、訳語変更を行うと、訳文エリアの語句は置き換わりますが、訳文の再翻訳は行われず、確認エリアの文はそのまま残ります。



ただし、韓日間（原文エリアと訳文エリア）の単語の対応は表示できますが、日韓間（訳文エリアと確認エリア）の単語の対応は表示できなくなります。

3 アプリケーションの翻訳

高麗には、翻訳エディタのほかに、Microsoft Officeから翻訳、ホームページの翻訳、受信したメールの翻訳など、便利な翻訳機能があります。

この章では、アプリケーションから実行する翻訳機能について説明します。

3.1 Microsoft Officeアドイン翻訳

高麗は、Word, Excel, PowerPointにある文章を翻訳できます。



高麗が起動していない状態で、Officeアドイン翻訳を実行することができません。

すでにMicrosoft Officeがインストールされているパソコンに、初期状態のまま高麗をインストールすると、「Wordアドイン翻訳」、「Excelアドイン翻訳」、「PowerPointアドイン翻訳」機能がインストールされます。

アドイン機能の有効／無効の設定方法については、『3.1.5 アドイン翻訳機能の有効と無効』を参照してください。

3.1.1 アドイン翻訳の起動と翻訳言語の選択

各ソフトウェアにアドイン機能がインストールされると、次のアイコンがツールバーに表示されます。



各アイコンの意味は以下のとおりです。

ツールバーのボタン	説明
Excel：ワークシート翻訳 PowerPoint：スライド翻訳	表示しているワークシート／スライドを翻訳する（青い三角）
<全文翻訳>	表示している文書全体／ワークブック全体を翻訳する（緑の三角）
<選択範囲翻訳>	選択した部分を翻訳する
<アドイン設定>	翻訳に関する各種設定を行う
<ヘルプ>	Microsoft Officeアドイン翻訳のヘルプを表示する

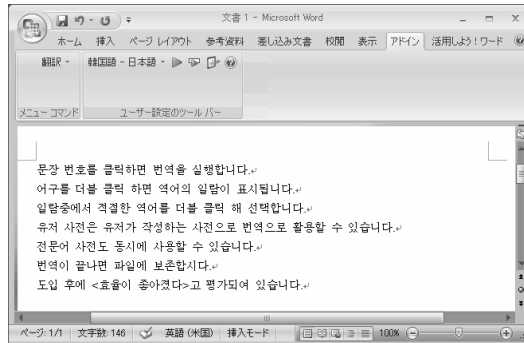
このツールバーが表示されない場合は、[表示]－[ツールバー]のサブメニューから「アドイン翻訳」チェックボックスをオンにして表示してください。

● 翻訳言語の切り替え

韓日翻訳と日韓翻訳を切り替えるには、「韓国語－日本語」の横にある▼をクリックして表示されるプルダウンメニューから選択してください。

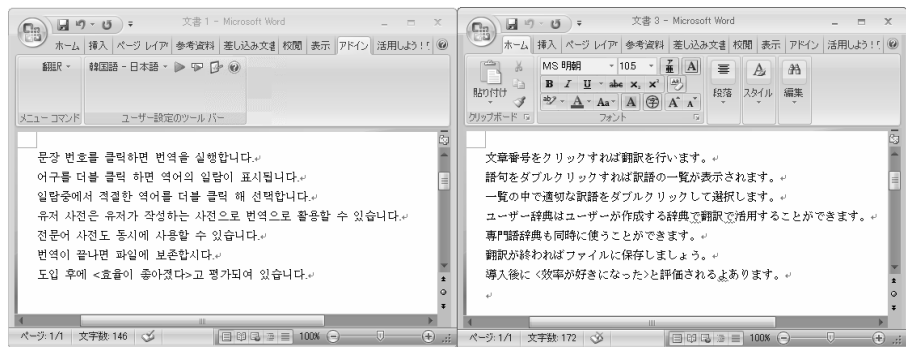
3.1.2 Wordの翻訳

手順 1. Wordで翻訳する文章を表示して〈全文翻訳〉をクリックします。



翻訳処理の進捗状況を示すプログレスバーが表示され、翻訳が終わるとプログレスバーが閉じます。

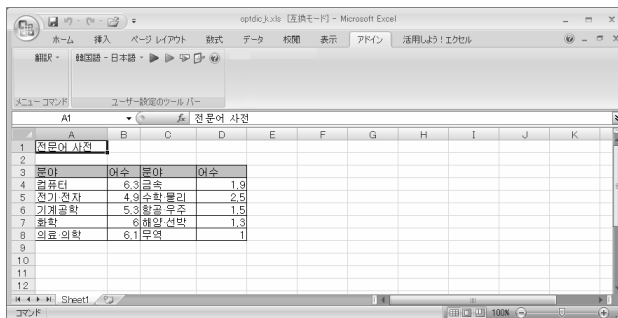
元のWordウィンドウの横に翻訳結果のウィンドウが表示されます。



翻訳結果の表示方法、翻訳の際のスタイル、フィールドコードの扱いなどは、〈アドイン設定〉をクリックすると表示されるアドイン設定ダイアログで変更できます。

3.1.3 Excelの翻訳

- 手順** 1. Excelで翻訳する文章を表示して〈ワークシート翻訳〉（青）をクリックします。



翻訳処理の進捗状況を示すプログレスバーが表示され、翻訳が終わるとプログレスバーが閉じます。

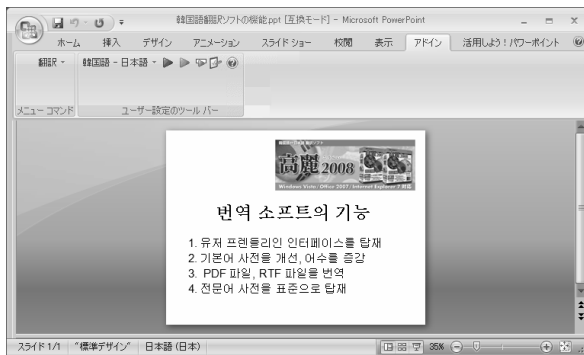
元のExcelウィンドウの横に翻訳結果のウィンドウが表示されます。



翻訳結果の表示方法、翻訳の際のスタイル、計算式の扱いなどは、〈アドイン設定〉 をクリックすると表示されるアドイン設定ダイアログで変更できます。

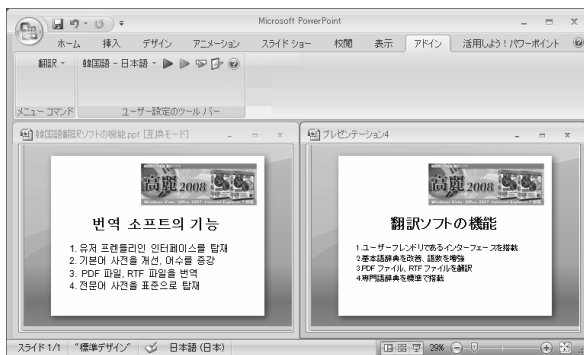
3.1.4 PowerPointの翻訳

- 手順** 1. PowerPointで翻訳する文章を表示して〈全文翻訳〉 (青) をクリックします。



翻訳処理の進捗状況を示すプログレスバーが表示され、翻訳が終わるとプログレスバーが閉じます。

元のPowerPointウィンドウの横に翻訳結果のウィンドウが表示されます。



翻訳結果の表示方法、翻訳の際のスタイルなどは、〈アドイン設定〉 をクリックすると表示されるアドイン設定ダイアログで変更できます。

3.1.5 アドイン翻訳機能の有効と無効

すでにMicrosoft OfficeやInternet Explorerがインストールされているパソコンに、初期状態のままで高麗をインストールすると、アドイン翻訳機能がインストールされます。

インストールの後、アドイン機能を使用するかを指定することができます。

手順

1. 「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]—[Cross Language]—[ツール]—[アドイン設定]を選択します。
アドイン設定ダイアログが表示されます。



2. 使用するアドイン機能のチェックボックスをオンにします。
チェックボックスがオンの場合、アドイン機能が有効になり使用できます。
オフにするとアドイン機能が無効に設定されて使用できなくなります。
3. 各項目を設定したら、〈設定〉をクリックします。
これで、アドイン機能が有効（無効）に設定されました。



インストールしたユーザーと違う名前でログインし、Microsoft Officeアドインを使用する場合は、ここでMicrosoft Officeアドインを有効に設定する必要があります。

3.2 ホームページの翻訳

「ホームページ翻訳」機能は、ブラウザに表示した文章を、画像、表などのレイアウトを変えずに翻訳します。

ホームページ翻訳の設定と制限事項については、『6.3 ホームページ翻訳の設定』を参照してください。アドイン機能の有効／無効の設定方法については、『3.1.5 アドイン翻訳機能の有効と無効』を参照してください。

3.2.1 翻訳の前に

ホームページ翻訳は、Internet Explorerアドイン機能を使って実行します。Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、翻訳ツールバーが表示され、翻訳が実行できるようになります。翻訳ツールバーが表示されない場合は、以下の手順で表示します。

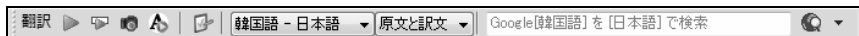
● 翻訳ツールバーの表示

Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、翻訳ツールバーが表示できるようになります。翻訳ツールバーの表示方法は以下のとおりです。

手順

1. Internet Explorerを起動します。
2. [表示]-[ツールバー]-[IEアドイン翻訳]を選択します。

次の翻訳ツールバーが表示されます。



表示された翻訳ツールバーの位置が見にくい場合には、[表示]-[ツールバー]-[ツールバーを固定する]のチェックを外し、翻訳ツールバーをスライドさせて見やすい場所に置きます。

● 翻訳言語リストの取得

Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、翻訳ツールバーに翻訳可能な言語ペアの一覧（翻訳言語リストボックス）が表示されます。表示されない場合は、翻訳の前にあらかじめ翻訳言語リストを取得します。

手順

1. 翻訳ツールバーの〈設定〉をクリックし、設定画面を表示します。



2. 〈言語リスト取得〉をクリックします。
3. 〈OK〉をクリックし、設定ダイアログを閉じます。

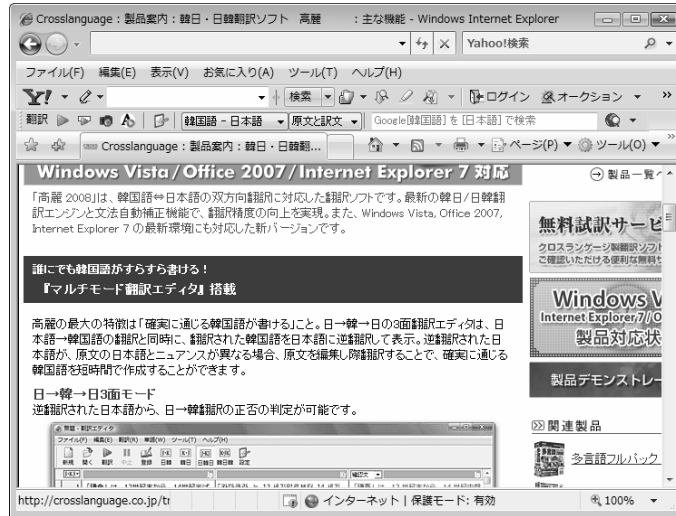
これで、使用可能な翻訳言語がツールバーの言語リストに設定されました。

3.2.2 ホームページを翻訳する

ホームページ翻訳の手順は以下のとおりです。

手順

1. Internet Explorerで翻訳するページを表示します。



2. 翻訳する言語ペアを選びます。ツールバーの「韓国語－日本語」の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから言語ペアを選びます。
3. 「原文と訳文」の横の▼をクリックし、翻訳結果の表示方法を選びます。「原文と訳文」または「訳文のみ」から選択できます。
4. ツールバーの「翻訳」▶をクリックします。

翻訳が開始されます。翻訳が終了すると、翻訳結果が表示されます。





【翻訳結果が正しくない場合】

辞書で見つからない単語は、原文のまま表示されます。また、フレームを含むページは翻訳できない場合があります。フレームを別ウィンドウで表示するか、翻訳できない部分は翻訳エディタを使って翻訳してください。

● 選択した文章の翻訳

ホームページ翻訳では、選択した文章を翻訳することができます。

Internet Explorerで翻訳するページを表示し、翻訳する文章をマウスでドラッグして選択します。次に〈選択範囲の翻訳〉をクリックすると、選択した文章が翻訳されます。



【選択範囲を翻訳した場合のレイアウト】

選択範囲の翻訳を行った場合、元のページのレイアウトは継承されません。

Internet Explorer 8のアクセラレータで翻訳

Internet Explorer 8のアクセラレータを使用して、選択した文章を翻訳することができます。翻訳する文章をマウスでドラッグして選択し、アクセラレータボタンをクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。メニューにある「IEアドイン翻訳」をクリックすると、選択した文章が翻訳されます。

● キャプチャ翻訳

ホームページ翻訳では、選択した領域の文字認識を実行し、抽出した文章を翻訳する「キャプチャ翻訳」を実行することができます。

〈キャプチャ翻訳〉をクリックすると、キャプチャ翻訳が起動してマウスカーソルが「+」に変わります。キャプチャ翻訳の詳細については、『4.4 キャプチャ翻訳』を参照してください。

● ワンポイント翻訳

ホームページ翻訳では、高麗を起動していない状態でも、韓日または日韓翻訳を行う「ワンポイント翻訳」を実行することができます。

〈ワンポイント翻訳〉をクリックすると、ワンポイント翻訳が起動します。ワンポイント翻訳については、『4.5 ワンポイント翻訳』を参照してください。

3.2.3 ホームページの翻訳検索

「翻訳検索」は、指定したキーワードをWebページで検索し、検索結果を翻訳してブラウザに表示します。

検索では、以下の検索エンジンを使用することができます。検索エンジンの追加方法については後述する『翻訳検索の設定』を参照してください。

検索エンジン

Google
Yahoo
Wikipedia

ホームページ翻訳検索は、Internet Explorerアドイン機能を使って実行します。Internet Explorerアドイン機能をインストールすると、Internet Explorerに翻訳ツールバーが表示されます。翻訳ツールバーが表示されない場合『3.2.1 翻訳の前に』を参照して表示します。

翻訳検索の手順は以下のとおりです。

手順

1. Internet Explorerのツールバーの「韓国語－日本語」の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから「韓国語－日本語」または「日本語－韓国語」を選びます。

2. 翻訳検索ボックスにキーワードを入力します。

キーワードは韓日翻訳の場合は日本語、日韓翻訳の場合は韓国語で指定します。

3. 翻訳検索アイコンの横の▼をクリックし、プルダウンメニューから検索エンジンを選択します。

選択した検索エンジンにチェックマークが付与されます。

4. 翻訳検索アイコンをクリックします。

翻訳検索ダイアログが表示されます。キーワードを指定せずに翻訳検索アイコンをクリックすると、検索エンジンのページが表示されます。



単語	訳
マラソン	마라톤

翻訳検索ダイアログでは、次の操作を実行することができます。

原文キーワードの翻訳

〈再翻訳〉をクリックすると、「原文キーワード」が翻訳されます。

翻訳されたキーワード

検索は、「翻訳されたキーワード」の語句で実行されます。

「翻訳されたキーワード」には、キーボードから直接入力することもできます。

〈検索のみ〉

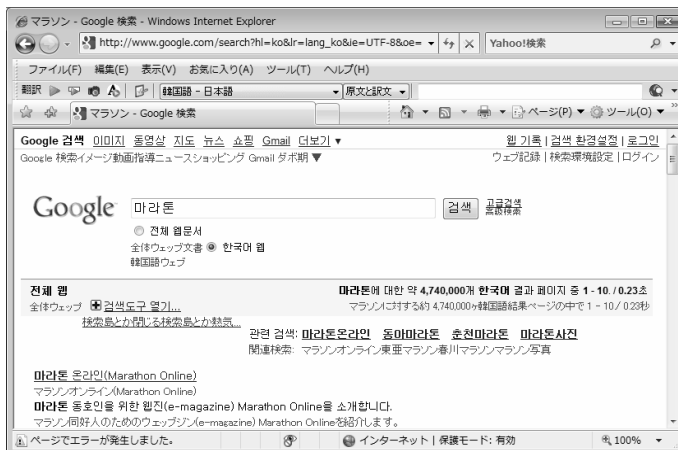
「翻訳されたキーワード」の語句で検索を実行します。

〈検索して翻訳〉

「翻訳されたキーワード」の語句で検索を実行し、検索結果を翻訳します。

5. 翻訳検索ダイアログで〈OK〉をクリックします。

検索と翻訳が開始されます。翻訳が終了すると、翻訳結果が表示されます。



● 翻訳検索の設定

検索エンジンを指定します。

翻訳検索アイコンの横の▼をクリックし、プルダウンメニューから「設定」を選択すると、次のダイアログが表示されます。



検索エンジン一覧

設定されている検索エンジンが一覧表示されます。

検索エンジンの追加／変更／削除

「検索エンジン一覧」で内容を変更する項目をクリックして選択すると、各項目に設定内容が表示されます。各項目を適切に設定し、〈変更〉をクリックすると設定値が変更されます。〈追加〉をクリックすると新規に検索エンジンが追加されます。

「検索エンジン一覧」で削除する項目を選択し、〈削除〉をクリックすると、リストから外されます。

タイトル

検索エンジンのタイトルを設定します。翻訳検索アイコンをクリックすると、ここで設定した名称が表示されます。

サイトURL

検索エンジンのURLを指定します。

検索URL

検索の際に使用するURLの設定（引数）を指定します。

言語

検索対象となる言語を指定します。

キーワードエンコード

検索キーワードのエンコードを指定します。

上へ／下へ

検索エンジンの順番を上下へ1つずつ移動することができます。移動する辞書を選択して、次のいずれかのボタンをクリックします。

〈上へ〉 （1つ上へ移動）

〈下へ〉 （1つ下へ移動）

3.3 メール翻訳

Windows Liveメール 2009、Windowsメール（Vista）またはOutlook Express（XP）で受信したメールを翻訳して、翻訳結果をメール翻訳ウィンドウに表示できます。

アドイン機能の有効／無効の設定方法については、『3.1.5 アドイン翻訳機能の有効と無効』を参照してください。

メール翻訳の設定については、『6.4 メール翻訳の設定』を参照してください。

● 翻訳ツールバーの表示

メール翻訳機能をインストールすると、メールソフトには次の翻訳ツールバーが表示されます。



翻訳ツールバーが表示されない場合は、次の手順で表示します。

手順

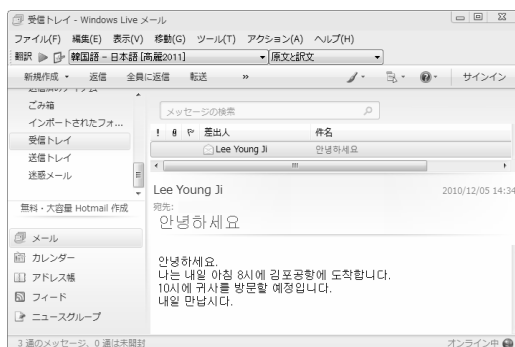
1. Windows Liveメール 2009を起動します。
 2. ツールバーの〈メニュー〉をクリックして、プルダウンメニューの「メニューバーの表示」を選択します。
- 翻訳ツールバーが表示されます。

3.3.1 メール翻訳の実行

メールを翻訳する手順は、以下のとおりです。

手順

1. Windows Liveメール 2009、WindowsメールまたはOutlook Expressを起動してメール一覧から翻訳したいメールをクリックして選択します。



2. ツールバーの「韓国語－日本語」の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから「韓国語－日本語」または「日本語－韓国語」を選択します。
3. 「原文と訳文」の横の▼をクリックし、翻訳結果の表示方法を選びます。「原文と訳文」、「訳文のみ」、「左右対訳」から選択できます。

4. ツールバーの〈翻訳〉をクリックします。

メール翻訳が実行され、翻訳結果が新しいウィンドウに表示されます。



メール翻訳は、翻訳エディタの設定ダイアログで設定する「翻訳」、「辞書」の設定にしたがって実行されます。

原文と訳文

原文と訳文を上下に表示します。

訳文のみ

翻訳結果の訳文のみを表示します。

左右対訳

原文と訳文を左右対訳で表示します。



メール翻訳は、受信したメールを翻訳する機能です。

作成したメールを翻訳することはできません。

また、翻訳結果の保存、印刷、メール送信／転送を実行することはできません。

3.4 PDFダイレクトファイル翻訳

PDFダイレクトファイル翻訳では、高麗を起動することなく、PDFファイルを翻訳できます。

PDFダイレクトファイル翻訳の設定と制限事項については、『6.5 PDFダイレクトファイル翻訳の設定』を参照してください。

3.4.1 PDFダイレクトファイル翻訳の実行

PDFダイレクトファイル翻訳は以下の手順で行います。



この機能は、PDFファイルを開いているアプリケーション上から実行することはできません。

手順

1. 翻訳するPDFファイルのアイコンを右クリックし、ショートカットメニューから「ダイレクト翻訳」を選択します。

名前を付けて保存ダイアログが表示されます。



2. 「保存する場所」で、翻訳結果のファイルを保存する場所を指定し、「ファイル名」で翻訳結果のファイル名を指定します。初期状態では、原文のファイル名に「_tran」を付加します。
3. 「エンジン」で翻訳するエンジンを指定します。

〈保存〉をクリックすると、翻訳が実行されます。翻訳が終了すると、「保存する場所」に指定したフォルダに、翻訳結果のファイルが保存されます。

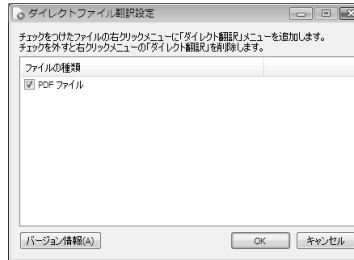
3.4.2 PDFダイレクトファイル翻訳の有効と無効

高麗をインストールすると、PDFダイレクトファイル翻訳機能がインストールされます。インストールの後、この機能を使用するかを指定することができます。

手順

1. 「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]－[Cross Language]－[ツール]－[ダイレクトファイル翻訳設定]を選択します。

ダイレクトファイル翻訳設定ダイアログが表示されます。



2. 「PDFファイル」チェックボックスがオンの場合、右クリックで表示されるショートカットメニューに「ダイレクト翻訳」が追加されます。オフにするとショートカットメニューから「ダイレクト翻訳」が削除されます。
3. 〈OK〉をクリックします。

これで、PDFダイレクトファイル翻訳機能が有効、または、無効に設定されました。

4 翻訳パレット入門

「翻訳パレット」は、便利で手軽な翻訳コマンドの入ったツールバーです。翻訳パレットには、他のアプリケーションにある文の翻訳や辞書引き機能などが登録されています。

この章では、翻訳パレットの起動、終了、機能と操作方法について説明します。

4.1 翻訳パレットの起動と終了

翻訳パレットの起動と終了方法について説明します。

4.1.1 翻訳パレットの起動

デスクトップにある高麗 2011 翻訳パレットのアイコンをダブルクリックすると、翻訳パレットが起動します。

または、タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]ー[Cross Language]ー[高麗 2011]ー[翻訳パレット]を選択すると翻訳パレットが起動します。

翻訳パレットが起動すると次のパレットが表示されます。

メモ インストールされていない機能のボタンは翻訳パレットには表示されません。



翻訳パレットには、以下の機能があります。

① 翻訳エディタ

高麗の翻訳エディタを起動します。

② ファイル翻訳

ファイル翻訳を起動します。複数のファイルをまとめて翻訳できます。

③ キャプチャ翻訳

画像データを文字認識し、抽出した文章を翻訳します。

④ ワンポイント翻訳

高麗を起動しないで、翻訳を実行できます。

⑤ OCR

OCRソフト、「CROSS OCR」を起動します。

メモ OCRは、高麗 plusに搭載されています。

⑥ 設定

翻訳パレットに表示するボタンの設定と翻訳パレットのバージョン情報の表示を行います。

● 翻訳パレットの並べ方

初期状態では、翻訳パレットのボタンは横に並んでいます。

翻訳パレットのタイトルバーをダブルクリックすると、縦または横に並べ替えることができます。翻訳パレットを縦に並べると、ウィンドウを広く使うことができます。

4.1.2 翻訳パレットの終了

翻訳パレットを終了するには、右上にある閉じるボタン（✕）をクリックします。

4.2 翻訳エディタ

〈翻訳エディタ〉 は、翻訳エディタを起動します。ホームページや他のアプリケーションにある文章を翻訳エディタに貼り付けて翻訳することができます。翻訳エディタでは、訳語の変更、辞書引き、ユーザー辞書の更新など、翻訳結果の編集を行うことができます。また、翻訳結果を印刷したり、テキストファイルに保存することができます。

4.3 ファイル翻訳

「ファイル翻訳」では、複数のファイルをまとめて翻訳することができます。同じ条件で複数のファイルを翻訳したい場合に便利です。

4.3.1 ファイル翻訳を実行する

ファイル翻訳は、以下の手順で行います。

手順

1. 翻訳パレットの〈ファイル翻訳〉をクリックします。
ファイル翻訳が起動します。



2. 言語選択ボタンをクリックして、翻訳する言語（「日本語→韓国語」または「韓国語→日本語」）を選択します。
3. 〈翻訳するファイルを選択〉をクリックして、ファイル指定ダイアログからファイルを選択します。



翻訳したいファイルを選んで、〈追加〉をクリックすると、「原文ファイル」にファイル名が追加されます。翻訳できるファイルはテキストファイルまたはHTMLファイルで、最大20個まで選択できます。ファイルを指定して〈閉じる〉をクリックし、ダイアログを閉じます。



選択したファイルをリストから外す場合は、ファイルを選択して をクリックします。すべてのファイルを外す場合は、 をクリックします。

4. 翻訳結果のファイル名と保存する場所を指定します。

初期設定では、韓日翻訳の場合はファイル名に「_kj」、日韓翻訳の場合はファイル名に「_jk」が付加され、原文と同じフォルダに保存されます。保存先のフォルダを変更する場合は、「フォルダ指定」の横の をクリックしてフォルダを指定してください。

5. 〈翻訳〉 をクリックすると、翻訳が開始され、「進行状況」に翻訳の進み具合が表示されます。翻訳を中止する場合は、 をクリックしてください。

6. ファイル翻訳を終了するには、右上の閉じるボタン、または をクリックします。



ヒント

【「スタート」ボタンから起動】

ファイル翻訳は、「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]－[Cross Language]－[高麗 2011]－[ファイル翻訳]を選択して起動することができます。

各ボタンの説明

-  ファイル翻訳を開始する
-  ファイル指定ダイアログを表示する
-  選択したファイルが保存されているフォルダを開く
-  選択したファイルの内容を、右のプレビューウィンドウに表示する
-  選択した翻訳結果のファイルを、翻訳エディタに転送して表示する
-  選択したファイルの内容を、Wordに転送する
-  ファイル翻訳の設定ダイアログを開く
-  ファイル翻訳を終了する

訳文テキスト

テキストファイルの翻訳結果の文字コードを指定します。ローカルコードを選択すると訳文の言語のコードで、unicodeを選択するとunicodeで出力されます。

訳文HTML

HTMLファイルの翻訳結果の出力方法を指定します。「訳文のみ」、「原文と訳文」が選択できます。

4.3.2 ファイル翻訳の設定

〈翻訳設定を表示〉をクリックすると、ファイル翻訳の設定ダイアログが開きます。ファイル翻訳はこの設定にしたがって実行されます。

日韓辞書

日韓翻訳の専門語辞書を選択します。

韓日辞書

韓日翻訳の専門語辞書を選択します。

配色

HTMLファイルの訳文の配色を設定します。「色指定」のラジオボタンをチェックし、〈色選択〉をクリックして色を設定してください。

韓国語文法チェック

韓日翻訳で韓国語文法チェックを実行するかどうかを選択します。このチェックボックスがオンの場合、ファイル翻訳時に韓国語文法チェックを実行します。

メモ 韓国語文法チェックは、Windows XPの制限ユーザーでは使用することができません。

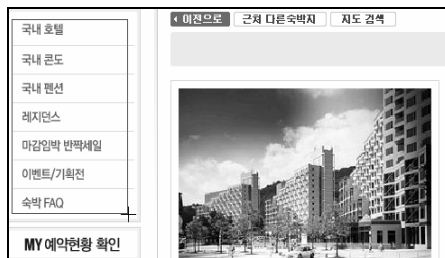
4.4 キャプチャ翻訳

「キャプチャ翻訳」は、画像データに文字認識を実行し、抽出した文を翻訳する機能です。たとえばホームページでは、広告や宣伝文を画像データで配置することがあります。キャプチャ翻訳を使えばキーボードから入力する必要がなく、画像データを範囲指定するだけで文字認識して、翻訳を実行することができます。また、キャプチャ翻訳では、文字認識のみを実行することもできます。本ツールの設定については、『6.6 ツールの設定』を参照してください。

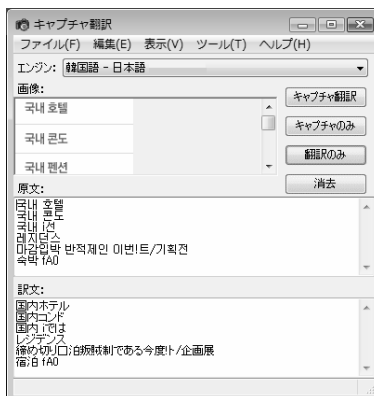
4.4.1 キャプチャ翻訳の実行

キャプチャ翻訳の手順は以下のとおりです。

- 手順**
1. 翻訳パレットの〈キャプチャ翻訳〉をクリックします。
キャプチャ翻訳が起動します。
 2. ダイアログの〈キャプチャ翻訳〉をクリックします。
キャプチャ翻訳が開始され、マウスカーソルが「+」に変わります。
 3. マウスをドラッグすると矩形が表示されるので、翻訳する部分を囲みます。



キャプチャ翻訳が開始されます。
結果はキャプチャ翻訳ウィンドウに表示されます。



「画像」には、文字認識の対象となる画像が表示されます。
「原文」：文字認識の結果が表示されます。
「訳文」：「原文」に入力された文章の翻訳結果が表示されます。
再度キャプチャ翻訳を実行する場合は、〈キャプチャ翻訳〉をクリックして、手順2のように、範囲を指定します。



ヒント

【「スタート」ボタンから起動】

キャプチャ翻訳は、「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]－[Cross Language]－[ツール]－[キャプチャ翻訳]を選択して起動することができます。



ヒント

【Internet Explorerの翻訳ツールバーから起動】

Internet Explorerの翻訳ツールバーの〈キャプチャ翻訳〉をクリックすると、キャプチャ翻訳が起動します。



ヒント

【ホットキーで呼び出し】

キャプチャ翻訳は、ホットキーで呼び出すことができます。ホットキーの設定については、『6.6 ツールの設定』を参照してください。

● 中止

マウスカーソルが「+」に変わった後、キャプチャ翻訳を中止する場合は、Escキーを押します。

● 翻訳言語の指定

キャプチャ翻訳では、韓日と日韓翻訳を実行することができます。
「エンジン」には、翻訳を実行する言語が表示されます。
言語を変更する場合は、右端にある▼をクリックして表示される一覧から言語を指定します。

● 認識言語

韓国語または日本語を認識することができます。
認識言語は、「エンジン」で指定した翻訳言語の原語で指定されます。
「韓国語－日本語」の場合は韓国語、「日本語－韓国語」の場合は日本語の文字認識が実行されます。

- 認識可能な文字

文字認識は、白地に黒文字で、明朝またはゴシックフォントの場合、精度が上がります。以下のケースでは、正しく認識できないことがあります。

- 背景に模様、影、ノイズなどがある
- 文字と背景色が識別しにくい（たとえば、水色や黄色などの背景色に白い文字。黒の背景色に青い文字。）
- 認識対象の画像の文字サイズが200 x 200dpi以下である
- 斜体、筆文字、ポップ文字などデザインされたフォントである

- 文字認識のみ実行

文字認識のみを実行する場合は、〈キャプチャのみ〉をクリックします。マウスカーソルが「+」に変わったら、文字認識を実行する範囲を指定します。文字認識が実行されて、結果がキャプチャ翻訳ウィンドウに表示されます。

- 再翻訳

背景色と文字色のコントラストが不鮮明であったり、斜体、筆文字、ポップ文字のようにデザインされたフォントの場合、文字が正しく認識されないことがあります。このような場合は、「原文」ボックスの認識結果を修正してから〈翻訳のみ〉をクリックして、再翻訳を実行します。

4.4.2 キャプチャ翻訳の編集作業と表示機能

キャプチャ翻訳で行える編集作業と表示機能について説明します。

- 編集

キャプチャ翻訳では、一般的なエディタと同じように、「原文」または「訳文」に表示されている文字列を選択して、編集メニューから[切り取り]、[コピー]などを行えます。

- 常に手前に表示

表示メニューの[常に手前に表示]にチェックマークが付与されている場合、キャプチャ翻訳は、常に最前面に表示されます。このコマンドを選択するごとにチェックマークのオン／オフが切り替わります。

4.5 ワンポイント翻訳

「ワンポイント翻訳」では、高麗を起動していない状態でも、すばやく翻訳を実行できます。ここでは、ワンポイント翻訳の手順について説明します。
本ツールの設定については、『6.6 ツールの設定』を参照してください。

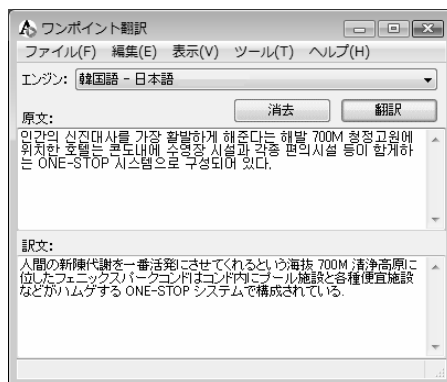
手順

1. 翻訳パレットの〈ワンポイント翻訳〉をクリックします。

ワンポイント翻訳ウィンドウが表示されます。

2. 翻訳言語を選択します。「エンジン」の右端にある▼をクリックして表示される一覧から翻訳言語の組み合わせを選択します。
3. 「原文」に翻訳したい文を入力し〈翻訳〉をクリックします。

「訳文」に翻訳結果が表示されます。



ヒント

【「スタート」ボタンから起動】

ワンポイント翻訳は、「スタート」ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]ー[Cross Language]ー[ツール]ー[ワンポイント翻訳]を選択して起動することができます。



ヒント

【Internet Explorerの翻訳ツールバーから起動】

Internet Explorerの翻訳ツールバーの〈ワンポイント翻訳〉をクリックすると、ワンポイント翻訳が起動します。



ヒント

【ホットキーで呼び出し】

ワンポイント翻訳は、ホットキーで呼び出すことができます。ホットキーの設定については、『6.6 ツールの設定』を参照してください。

4.6 OCR

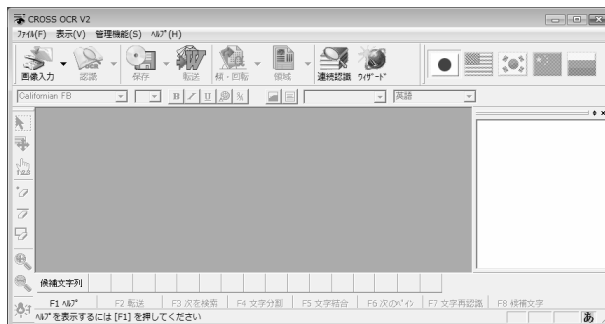
翻訳パレットの「OCR」は、新聞、書類、雑誌の記事や画像などをイメージスキャナから読み込んで、テキストデータに変換する機能です。

メモ 本機能は、高麗 plusに添付されています。

手順

1. 翻訳パレットの〈OCR〉をクリックします。

CROSS OCRが起動します。



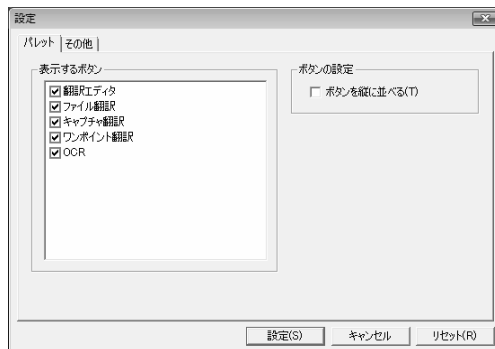
OCR機能については、『CROSS OCRのヘルプ』を参照してください。

CROSS OCRのヘルプは、CROSS OCRの[ヘルプ]ー[ヘルプトピック]を選択すると表示されます。

4.7 翻訳パレットの設定

翻訳パレットに表示するボタン、バージョンなどの設定を行います。

翻訳パレットの〈設定〉をクリックすると、次の設定ダイアログが表示されます。



● 「パレット」タブ

「パレット」タブでは、以下の設定を行います。

● 表示するボタン

翻訳パレットに表示するボタンを設定します。チェックボックスをオンにしたボタンが翻訳パレットに表示されます。

● ボタンの設定

初期状態で翻訳パレットのボタンは横に並んでいます。「ボタンを縦に並べる」チェックボックスがオンの場合、ボタンは縦に並びます。

● 「その他」タブ

「その他」タブの〈バージョン情報〉をクリックすると、翻訳パレットのバージョンが表示されます。

5 翻訳エディタの機能

この章では、翻訳エディタの使い方について説明します。翻訳エディタでは、韓日・日韓双方向の翻訳を実行して、訳語の変更、ユーザー辞書の構築などの翻訳作業を行うことができます。

翻訳エディタの基本的な操作、韓日翻訳については、『2 翻訳エディタ入門』を参照してください。

5.1 日本語を韓国語に翻訳する

この章では、翻訳エディタで韓国語を日本語に翻訳する方法を説明します。

5.1.1 日韓日モードで翻訳する

日韓日モードで韓国語の文章を翻訳する手順を説明します。

手順 1. 日韓日モードに設定します。

翻訳エディタが日韓日モードになっていない場合は、翻訳モードのプルダウンメニューから[J-K]を選択してください。



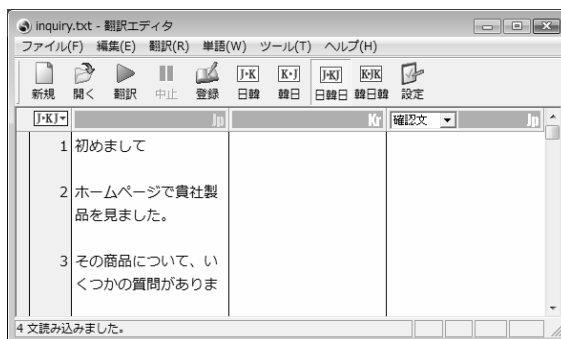
2. 原文エリアにカーソルを置いて、[ファイル]ー[開く]を選択します。

ファイルを開くダイアログが表示されます。



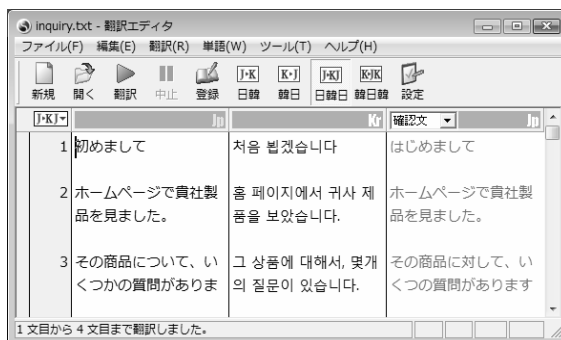
3. 翻訳するファイルをダブルクリックするか、ファイルを選択して〈開く〉をクリックします。

原文エリアに原文が読み込まれます。



4. カーソルが、文番号1にあることを確認して、ツールバーの〈翻訳〉をクリックします。

翻訳が開始され、翻訳結果が訳文エリアに表示されます。



● 一文翻訳

マウスポインタを文番号へ置くと手の形に変わるので、クリックすると一文翻訳が実行されます。

● 複数文の翻訳

翻訳エディタで、文番号をドラッグして選択し、マウスボタンを離すと、選択した文章が再翻訳されます。または、翻訳を開始する文から最終文までを選択し、ツールバーの〈翻訳〉をクリックすると、再翻訳されます。

5.1.2 単語の対応と訳語の変更

翻訳エディタでは、原文と訳文の対応を表示したり、訳語を変更することができます。

● 単語の対応

原文の単語をダブルクリックすると、対応する訳文の単語が反転表示され、文中の単語の訳を調べることができます。逆に、訳文の単語をダブルクリックすると、対応する原文の単語が反転表示されます。

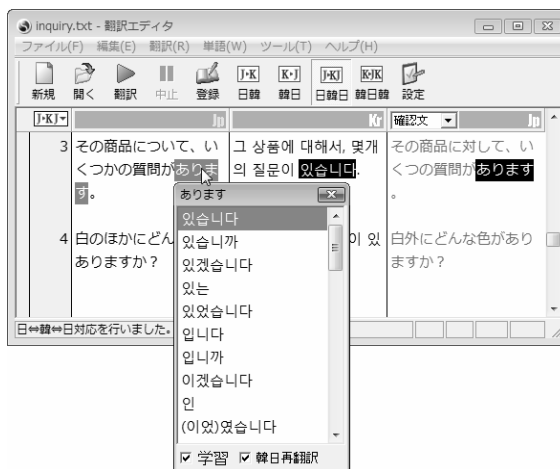
2	ホームページで貴社製品を見ました。	홈 페이지에서 귀사 제품을 보았습니다.	ホームページで貴社製品を見ました。
---	-------------------	-----------------------	-------------------

● 訳語の変更

訳が適切でない場合、他の訳語に変更することができます。手順は以下のとおりです。

手順

1. 単語を3回続けてクリック（トリプルクリック）します。
2. 訳語変更ダイアログが開き、訳語の候補が表示されます。



3. 適切な訳語をダブルクリックして訳を変更します。

3	その商品について、いくつかの質問があります。	그 상품에 대해서, 몇개의 질문이 있었습니다.	その商品に対して、いくつかの質問がありました。
---	------------------------	---------------------------	-------------------------

● 訳語の学習

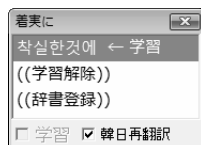
訳語変更で「学習」チェックボックスをオンにして訳語を変更した場合、変更した訳語は学習され、同じ単語が似た使われ方をすると学習した訳語が採用されます。



訳語を学習させたくない場合は、訳語変更ダイアログの「学習」チェックボックスをオフにします。

● 訳語変更を元に戻す

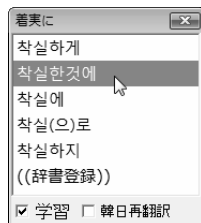
不適切な訳語に変更すると、構文が崩れ、訳質が低下する場合があります。訳語の学習を解除するには、元の訳語に戻す単語をトリプルクリックして訳語変更ダイアログを開き、訳語ダイアログの下部にある((学習解除))をダブルクリックします。



再翻訳が実行されて、元の訳語に戻ります。

● 訳語変更で訳文を再翻訳しない

日韓日モードで訳語変更の際、訳文を再翻訳しないことができます。訳語変更ダイアログの「日韓再翻訳」チェックボックスをオフにして、訳語変更を行うと、訳文エリアの語句は置き換わりますが、訳文の再翻訳は行われず、確認エリアの文はそのまま残ります。



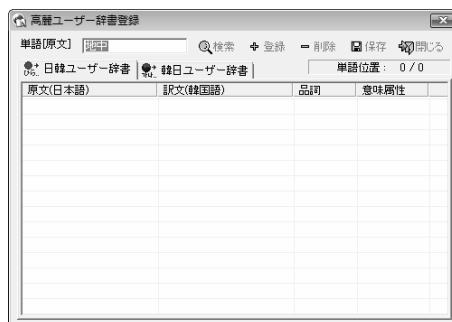
ただし、日韓間（原文エリアと訳文エリア）の単語の対応は表示できますが、韓日間（訳文エリアと確認エリア）の単語の対応は表示できなくなります。

5.1.3 ユーザー辞書に単語を登録する

人名や製品名などの固有名詞は、翻訳されなかったり、別の意味として翻訳されてしまいます。辞書にない単語はユーザー辞書に登録します。

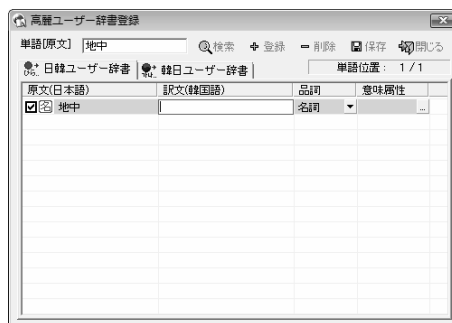
手順

1. 翻訳エディタで辞書登録する語句を選択します。
2. ツールバーの〈辞書登録〉をクリックして、辞書登録ダイアログを表示します。
3. 「単語〔原文〕」に選択した語句が入力されます。



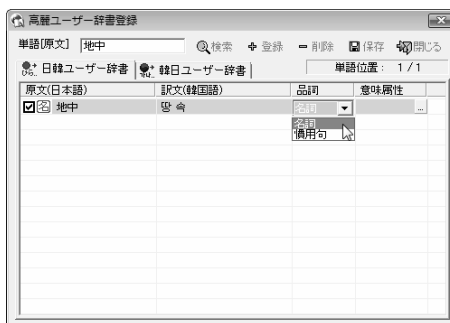
4. 〈登録〉をクリックします。

ダイアログの下段の「原文」に、新しく登録する語句が追加されます。原文には、韓国語で25文字まで入力できます。



1文字の単語はユーザー辞書に登録しても反映されないため、登録できません。見出し語には2文字以上の単語を入力してください。英数字、特殊記号、スペースは登録できません。

5. 「訳文」をクリックして訳語を入力し、「品詞」の横の▼をクリックして、プルダウンメニューから名詞または慣用句を選択します。



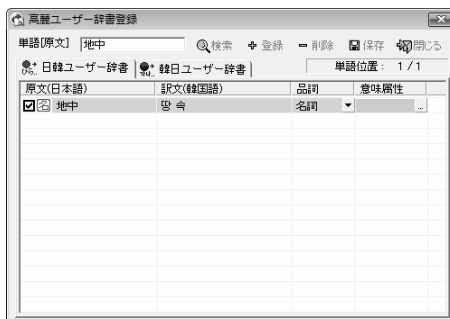
6. 単語に意味属性を付加する場合は、「意味属性」の横の **...** をクリックします。

次の意味属性テーブルが表示されます。各タブをクリックすると、「固有名詞」、「有形名詞」、「無形名詞(1)」、「無形名詞(2)」のテーブルが開きます。



意味属性を追加するには、追加する意味属性の前にあるチェックボックスをオンにします（韓日ユーザー辞書の意味属性は同時に10個まで選択が可能です）。

〈OK〉をクリックすると辞書登録ダイアログに戻ります。



7. 原文の前にあるチェックボックスがオンになっていることを確かめて、〈保存〉をクリックします。
8. 〈閉じる〉をクリックします。



ヒント

【訳語変更ダイアログから辞書登録する】

訳語変更ダイアログにある((辞書登録))をダブルクリックすると、同様に辞書登録ダイアログが開きます。

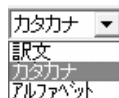
5.1.4 韓国語をカタカナやアルファベットに変換する

日韓日モードでは、翻訳した韓国語の読みをカタカナやアルファベットに変換して表示できます。

手順は以下のとおりです。

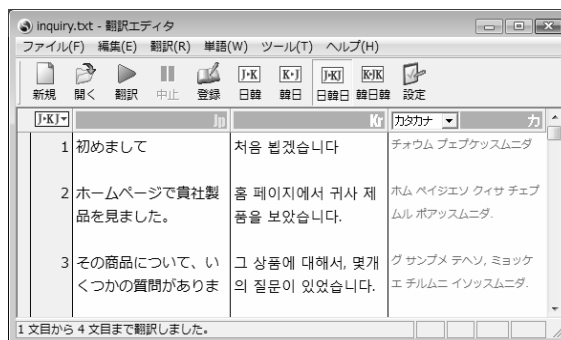
手順

1. 翻訳エディタの表示切り替えのプルダウンメニューから、「カタカナ」または「アルファベット」を選択します。



2. ツールバーの〈翻訳〉をクリックします。

韓日モードでは訳文エリア、韓日韓モードでは確認エリアに、原文の韓国語の読みがカタカナまたはアルファベットで表示されます。



(カタカナ変換の例)



(アルファベット変換の例)



ヒント

【カタカナ、アルファベット変換】

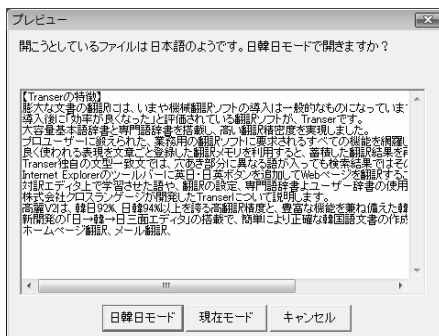
カタカナ変換、アルファベット変換に関する詳細は、『付録4 カタカナ／アルファベット変換について』を参照してください。

5.2 文書の読み込みと書き出し

ここでは、ファイルの読み込みと翻訳結果の保存について説明します。

5.2.1 テキストファイル読み込み時のモード

翻訳エディタでは、テキストファイルを読み込む際、ファイルが韓国語なのか、日本語なのかをチェックします。現在開いているモードと異なる場合は、その内容をプレビュー画面に表示して、モードを変更するか、現在のモードに読み込むかを指定できます。



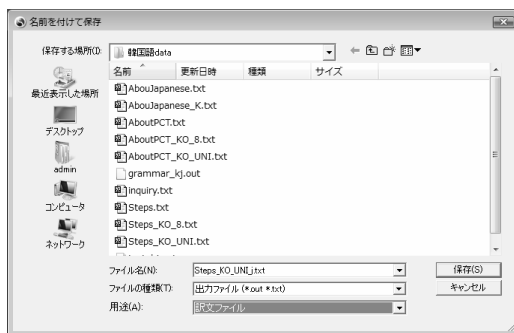
上記の例は、韓日または韓日韓モードで、日本語のテキストファイルを開こうとした場合です。

5.2.2 翻訳結果の保存

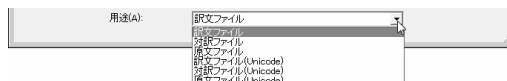
高麗では、翻訳結果の内容をテキストファイルとして保存できます。用途に合わせて原文と訳文の両方を含む「対訳ファイル」、原文のみの「原文ファイル」、訳文のみの「訳文ファイル」で保存できます。

手順

1. [ファイル]ー[名前を付けて保存]を選択します。
2. 名前を付けて保存ダイアログで保存先のフォルダを開き、「ファイル名」を入力します。



3. 「用途」の横の▼をクリックし、プルダウンメニューから保存する形式を選択します。



4. 〈保存〉をクリックします。

5.2.3 ファイルの種類

高麗では、以下の形式のテキストファイルを作成します。また、「(Unicode)」を選択すると、Unicodeのテキストファイルとして保存されます。

ファイルの種類	ファイル名、拡張子	説明
訳文ファイル	訳文が韓国語の場合： ファイル名に"_k"を付加 訳文が日本語の場合： ファイル名に"_j"を付加	訳文をテキストファイルに保存
対訳ファイル	原文が日本語の場合：ファイル名に "_kj"を付加し、拡張子".out"を付加 原文が韓国語の場合：ファイル名に "_jk"を付加し、拡張子".out"を付加	"++/M"記号、原文、訳文の順で対訳 をテキストファイルに保存
原文ファイル	原文が日本語の場合： ファイル名に"_j"を付加 原文が韓国語の場合： ファイル名に"_k"を付加	原文の韓国語をテキストファイル に保存

5.3 ユーザー辞書の更新

ユーザー辞書に登録した訳語は、高麗の基本語辞書よりも優先順位が高く設定されています。そのため、過去にユーザー辞書に登録した不適切な訳語を削除したり、改めて登録しなおしたりといったユーザー辞書のメンテナンスが大切です。

ここでは、ユーザー辞書に登録されている語句の検索と削除について説明します。

● ユーザー辞書のファイル名と保存場所

高麗のユーザー辞書のファイル名と保存場所は以下のとおりです。

韓日ユーザー辞書

Windows 7：[ライブラリ] → [ドキュメント] → [CrossLanguage] → [Kourai] → [kj] → [userdict.kj]

Windows Vista：[ユーザー名] → [ドキュメント] → [CrossLanguage] →
[Kourai] → [kj] → [userdict.kj]

Windows XP：[マイドキュメント] → [CrossLanguage] → [Kourai] → [kj] → [userdict.kj]

日韓ユーザー辞書

Windows 7：[ライブラリ] → [ドキュメント] → [CrossLanguage] → [Kourai] → [jk] → [UserDict.jk]

Windows Vista：[ユーザー名] → [ドキュメント] → [CrossLanguage] →
[Kourai] → [jk] → [UserDict.jk]

Windows XP：[マイドキュメント] → [CrossLanguage] → [Kourai] → [jk] → [UserDict.jk]

● ユーザー辞書に登録されている単語を検索する

ユーザー辞書に登録した訳語は、高麗の基本語辞書よりも優先順位が高く設定されています。そのため、過去にユーザー辞書に登録した不適切な訳語を削除したり、改めて登録しなおしたりといったユーザー辞書のメンテナンスが大切です。

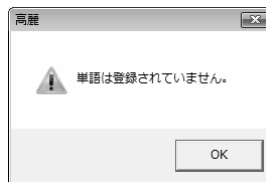
ユーザー辞書に登録されている単語は、次の手順で検索できます。

- 手順 1. ツールバーの〈辞書登録〉をクリックして、辞書登録ダイアログを表示します。



2. 「単語[原文]」に語句を入力し、〈検索〉をクリックします。

ユーザー辞書内に該当する語句がなかった場合、次のメッセージが表示されます。



3. 〈OK〉をクリックすると訳語登録ダイアログに戻ります。その単語を新たに辞書登録する場合は、〈追加〉をクリックして登録します。

ユーザー辞書内に該当する語句が見つかった場合、その語句が反転表示されます。ここで各項目を修正することができます。



訳語を修正したら、チェックボックスをオンにして、〈保存〉をクリックします。

● ユーザー辞書に登録されている訳語を削除する

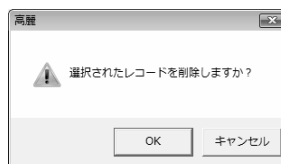
ユーザー辞書に登録されている訳語は、以下の手順で削除できます。

手順

1. 辞書登録ダイアログを表示し、削除する訳語の前にあるチェックボックスをオンにして、〈削除〉をクリックします。



次のメッセージが表示されます。



〈OK〉をクリックすると訳語登録ダイアログに戻ります。〈保存〉をクリックすると、ユーザー辞書から単語が削除されます。

5.4 翻訳ロック／韓日（日韓）ロック／ロック解除

翻訳結果の訳文を直接修正したり、学習機能を使わずに訳語変更しても、その文章を再翻訳すると元の翻訳結果に戻ってしまいます。このように、再翻訳したくない文を保護するのが「翻訳ロック」機能です。

翻訳ロックを設定するには、ロックする文番号の左、属性エリアにマウスポインタを移動して、ポインタの形がに変わったところでクリックします。翻訳ロックを解除するには、鍵のマークをクリックして、マークを消します。ロックされている文の文番号をクリックすると、ステータスバーに警告が表示され、翻訳できません。

また、韓日韓（日韓日）モードには、「翻訳韓日（日韓）ロック」機能があります。翻訳韓日（日韓）ロックがかかっていると、原文エリアの翻訳は実行されず、訳文エリアの翻訳だけが実行されます。

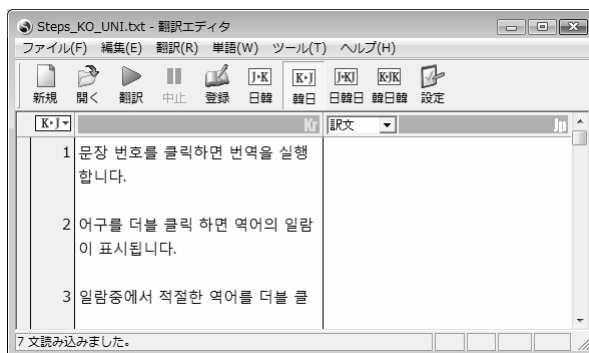
韓日韓（日韓日）モードで、属性エリアにマウスポインタを移動し、ポインタの形がに変わったところで一度クリックすると、文番号の前にが付き翻訳ロックがかかります。再度クリックすると、が付き翻訳韓日（日韓）ロックがかかります、3回目のクリックで、ロックが解除されます。

5.5 編集機能

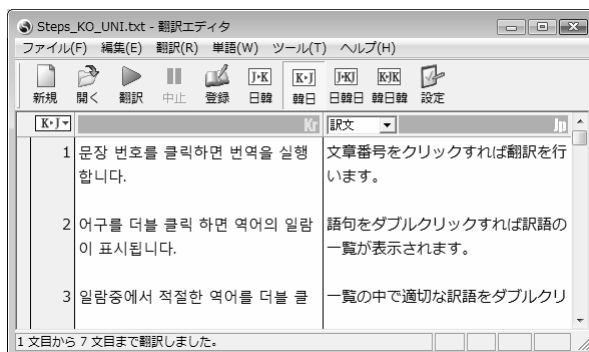
ここでは、翻訳エディタの編集機能について説明します。

5.5.1 翻訳エディタに文章を入力する

左側の原文エリアに翻訳する文を1文ずつ入力します。あるいは、ブラウザや他のアプリケーションの文章をコピーして、原文エリアへ貼り付けます。貼り付けた文章が、読点（。）やピリオド(.)の位置で自動的に1文ずつ改行されない場合は、読点やピリオドの後にカーソルを置き、Enterキーを押して改行してください。



ツールバーの〈翻訳〉をクリックすると、カーソル位置より下方向へ文章の翻訳が実行されます。翻訳結果は右側の訳文エリアへ表示されます。



5.5.2 原文や訳文の削除

翻訳エディタで文字を削除するには、文字列を選択して、Deleteキーを押します。Back Spaceキーを押すと、ひとつ左の文字が削除されます。原文エリアの文章を削除しても、訳文エリアの文章は残ったままです。原文と訳文の各々を削除してください。または、中央ラインを超えて原文の先頭から訳文の最後までを、マウスでドラッグして選択すると、原文と訳文を同時に選択できます。この状態で、Deleteキーを押すと、原文と訳文を一度に削除できます。

5.5.3 文字の検索と置換

原文や訳文に含まれる文字列を検索したり、検索した文字列を他の文字に置き換えることができます。原文に含まれる文字列を検索／置換する場合は原文エリアの先頭に、訳文の場合は訳文エリアの先頭に、カーソルを置きます。

● 文字列の検索

- 手順** ▶ 1. 「検索」を実行するエリアの開始する位置へカーソルを置いて、[編集]－[検索]を選択します。



このコマンドは、カーソルのあるエリア（原文、訳文または確認エリア）で実行されます。



2. 「検索する文字列」に検索語を入力します。
3. 英語の大文字と小文字を区別して検索する場合は、「大文字と小文字を区別する」チェックボックスをオンにします。
4. すべての項目を正しく入力したら、〈次を検索〉をクリックします。
検索文字列が見つかり、検索結果が反転表示されます。
5. 同じ語を続けて検索する場合は、〈次を検索〉をクリックします。
検索を中止するには、〈キャンセル〉をクリックします。

● 文字列の置換

- 手順** ▶ 1. 「置換」を実行するエリアの開始する位置へカーソルを置いて、[編集]－[置換]を選択します。



このコマンドは、カーソルのあるエリア（原文、訳文または確認エリア）で実行されます。

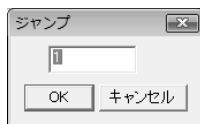


2. 「検索する文字列」と「置換する文字列」に各々の文字列を入力します。
3. 英語の大文字と小文字を区別して検索するには、「大文字と小文字を区別する」チェックボックスをオンにします。
4. 〈次を検索〉をクリックすると、見つかった語が反転表示されます。
5. 〈置換して次を検索〉をクリックすると、文字列を置換して、次に該当する文字列を検索します。置換しないで次に該当する文字列を検索する場合は、〈次を検索〉をクリックします。
置換を中止するには、〈キャンセル〉をクリックします。

5.5.4 指定文へジャンプ

ジャンプ機能で、指定した文へすばやく移動できます。

- 手順** ▶ 1. [編集]－[ジャンプ]を選択し、ジャンプダイアログを表示します。
2. 移動先の文番号を入力して〈OK〉をクリックします。



3. 指定した文へスクロールしてカーソルが移動します。

5.6 音声読み上げ

「音声読み上げ」は、韓国語を読み上げる機能です。
また、韓国語の音声を保存することもできます。

メモ 「音声読み上げ」は、Windows 7/Vistaでは使用することができません。

5.6.1 韓国語音声読み上げ

音声読み上げの手順は以下のとおりです。

手順

1. 音声読み上げを行う韓国語の文へカーソルを置きます。
2. カーソル位置の文のみを読み上げる場合は、[ツール]―[韓国語音声読み上げ(一文)]を選択します。
全文を読み上げる場合は、[ツール]―[韓国語音声読み上げ(全文)]を選択します。
中止する場合は、[ツール]―[韓国語音声出力中止]を選択します。

5.6.2 韓国語音声保存

音声を保存する手順は以下のとおりです。

手順

1. 読み上げの音声を保存する韓国語の文へカーソルを置きます。
2. カーソル位置の文のみの音声を保存する場合は、[ツール]―[韓国語音声保存(一文)]を選択します。
全文の音声を保存する場合は、[ツール]―[韓国語音声保存(全文)]を選択します。
名前を付けて保存ダイアログが開きます。



「保存する場所」を指定し、「ファイル名」を入力します。
〈保存〉をクリックすると、音声ファイルとして保存されます。



ヒント

韓日韓モードでは、原文エリアの韓国語が音声ファイルとして保存されます。

5.7 韓国語文法チェック

日本語は漢字とかなを交ぜて書くので、意味の切れ目が比較的分かりやすくなっています。しかし、韓国語では適切な箇所にスペースを入れないと、意味が通じない場合があります。これを「分かち書き」といいます。

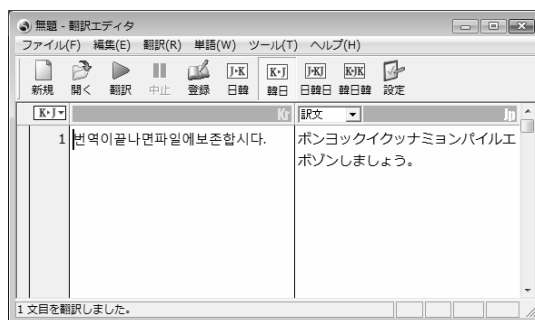
高麗の文法チェックを使えば、この分かち書きやつづりの間違い、外来語、方言などを自動補正し、翻訳精度を向上させることができます。

文法チェックに関する設定については、『6.1.3 文法チェックの設定』を参照してください。

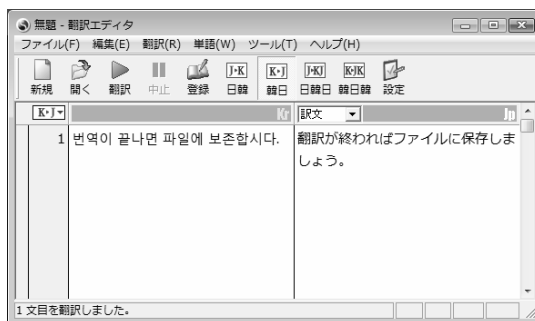
メモ 韓国語文法チェックは、Windows 7/Vistaで使用することはできません。
また、Windows XPの制限ユーザーでは使用することができません。

5.7.1 韓国語文法チェックの手順

「번역이 끝나면 파일에 보존합니다.」という文章を例に説明します。この文章を高麗でそのまま翻訳すると「ボンヨックイクナミョンパイルエボゾンしましょう。」という結果になります。



ここで、文法チェックを行う文章にカーソルを置き、[ツール]－[韓国語文法チェック（一文）]を選択すると、韓国語の分かち書きが自動補正され、翻訳した結果が表示されます。



全文を一括して文法チェックする場合は、[ツール]－[韓国語文法チェック（前文）]を選択してください。



韓国語文法チェックを実行すると、元の文章には戻せませんのでご注意ください。



日韓モード、日韓日モードでは、訳文エリアに表示された韓国語を文法チェックします。

5.7.2 韓国語文法チェックの動作

高麗の韓国語文法チェックでは、主に以下の内容についてチェックし、修正を行います。

文法チェックの内容	チェック前の例文	チェック後の例文
韓国語基本文法	경매에 붙이는	경매에 부치는
	실지 안타.	싫지 않다.
分かち書き	배영준씨일본에서도인기가있어요.	배영준씨 일본에서도 인기가 있어요.
	그이상의 조건	그 이상의 조건
方言	했당게	했다니까
	했어유	했어요
記号・スペル	초.주등학교	초・중등학교
	사과,배,오렌지	사과, 배, 오렌지
外来語	씨비스	서비스
	마이클 조단	마이클 조던
複数名詞・複数名詞の分かち書き	만리 장성	만리장성
	떡엄 떡엄	떡엄떡엄

5.8 アップデート

クロスランゲージでは、製品ごとにアップデートプログラムをリリースする場合があります。「アップデートの確認」機能は、ご使用のソフトウェアにアップデートプログラムの適用が必要なのかチェックします。ご使用の製品のバージョンより新しいバージョンのプログラムがある場合は、ダウンロードサイトから、アップデートプログラムをダウンロードしてください。

初期状態では、翻訳エディタの起動時にアップデートプログラムの適用が必要なのかチェックが実行されます。起動時の確認に関しては、頻度を設定することができます。頻度の設定については、後述する『アップデートのお知らせ設定』を参照してください。

アップデートが必要な場合は、アップデートの情報ダイアログが表示されます。アップデートを実行する場合は、〈ダウンロードページへ〉をクリックします。各種製品のダウンロードページが表示されるので、必要な製品のアップデートを実行します。

● アップデートの確認

アップデートプログラムの有無は翻訳エディタの起動時にチェックすることができますが、次の方法で確認することもできます。

翻訳エディタから実行

[ヘルプ]ー[アップデートの確認]を選択します。

スタートボタンから実行

タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]ー[Cross Language]ー[高麗 2011]ー[アップデート]ー[アップデートの確認]を選択します。

● アップデートのお知らせ設定

アップデートの確認を行う頻度を指定することができます。

アップデートの情報ダイアログで〈設定〉をクリックするか、タスクバーの「スタート」ボタンをクリックして[すべてのプログラム]ー[Cross Language]ー[高麗 2011]ー[アップデート]ー[アップデートのお知らせ設定]を選択すると、アップデートのお知らせ設定ダイアログが表示されます。

頻度の設定

翻訳エディタの起動時にアップデートの確認を実行する頻度を指定します。

確認しない

アップデートの確認を行わないアプリケーションを指定します。
弊社製品を複数インストールしている場合、処理対照となるアプリケーションが一覧表示されます。確認を行わないアプリケーションのチェックボックスをオンにします。

6 環境の設定

高麗では翻訳作業の環境を自由に設定することができます。環境を適切に設定すれば、翻訳時間の短縮、翻訳精度の向上を図ることができます。
この章では、環境の設定について説明します。

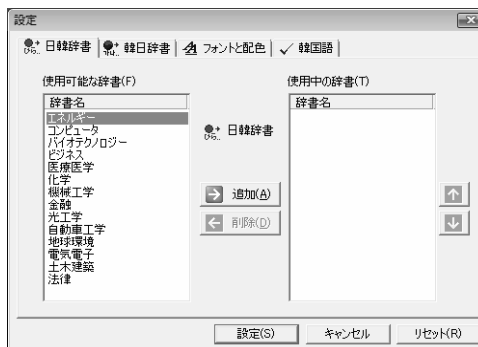
6.1 翻訳の設定

高麗では翻訳作業の環境を自由に設定することができます。環境を適切に設定することにより、翻訳時間を短縮し翻訳精度を向上させることができます。
ここでは、翻訳で使用する専門語辞書の指定、ツールバーの設定や、翻訳エディタに表示するフォントの設定などについて説明します。

6.1.1 専門語辞書の設定

専門語辞書はインストールしただけでは使用できません。韓日／日韓各々の設定ダイアログで使用する辞書として専門語辞書を追加する必要があります。
また翻訳では、「使用中の辞書」リストの先頭の辞書から優先的に使用されるので、辞書の優先順位を指定することができます。

ツールバーの〈設定〉をクリックし、「日韓辞書」または「韓日辞書」タブをクリックします。



「使用可能な辞書」から追加する専門語辞書を選択し、〈→ 追加〉をクリックすると、「使用中の辞書」に移動します。選択中の専門語辞書を解除する場合は、〈← 削除〉をクリックします。また、「↑」「↓」で辞書の優先順位も変えられます。

6.1.2 フォントの設定

翻訳エディタに表示されるフォント、韓日韓モードまたは日韓日モードで確認エリアに表示される文字色を変更することができます。

ツールバーの〈設定〉をクリックし、「フォントと配色」タブをクリックします。



フォント

翻訳エディタで使用するフォントを指定します。

段落

行の間隔を指定します。

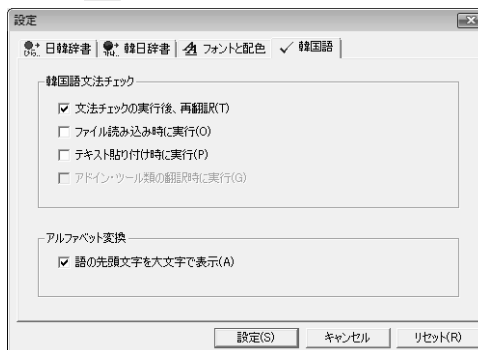
3面モードでの右側言語フォント

韓日韓モードまたは日韓日モードで確認エリアに表示される文字色を指定します。

6.1.3 文法チェックの設定

読み上げ品質や韓国語文法チェック、アルファベット変換の表示法が設定できます。

ツールバーの〈設定〉をクリックし、「韓国語」タブをクリックします。



● 韓国語文法チェック

メモ 韓国語文法チェックは、Windows XPの制限ユーザーでは使用することができません。

文法チェックの実行後、再翻訳

このチェックボックスがオンの場合、文法チェックを実行した時、当該文が再翻訳されます。オフの場合、文法チェックを実行しても再翻訳されません。

ファイル読み込み時に実行

このチェックボックスがオンの場合、[ファイル]－[開く]で韓国語を読み込む際に、文法チェックを実行します。

テキスト貼り付け時に実行

このチェックボックスがオンの場合、コピー＆ペーストで韓国語のテキストを貼り付ける際に、文法チェックを実行します。

アドイン・ツール類の翻訳時に実行

このチェックボックスがオンの場合、Internet Explorerアドイン翻訳、Outlook Expressアドイン翻訳、Microsoft Officeアドイン翻訳、キャプチャ翻訳、ワンポイント翻訳の際に、文法チェックを実行します。

メモ Windows 7/Vistaで「アドイン・ツール類の翻訳時に実行」の設定は行えません。

● アルファベット変換

アルファベット変換の表示法を設定します。「語の先頭文字を大文字で表示」チェックボックスがオンの場合、語の先頭が大文字で表示されます。

6.2 ツールバーカスタマイズ

翻訳エディタのツールバーに表示するボタンを変更できます。よく使うコマンドをツールバーへ登録しておく、と、クリックでコマンドを実行できるので便利です。

手順

1. [ツール]—[ツールバーカスタマイズ]を選択します。



2. ツールバーにボタンを追加する場合は、「追加できるツールバーボタン」にあるコマンドを選択して、〈追加〉をクリックします。
3. ツールバーからボタンを削除する場合は、「現在のツールバーボタン」にあるコマンドを選択して、〈削除〉をクリックします。
4. 正しく設定したら〈OK〉をクリックしてダイアログを閉じます。

6.3 ホームページ翻訳の設定

翻訳ツールバーの〈設定〉をクリックすると、ホームページ翻訳の設定ダイアログが開きます。翻訳結果のウィンドウの表示方法や訳文のフォント・色などが指定できます。



● 翻訳結果表示

翻訳結果を新規にブラウザを起動して表示するか、アクティブなブラウザに表示するかを設定します。

新規ブラウザウィンドウ	新規にブラウザを起動して翻訳結果を表示します。
メインウィンドウ	アクティブなブラウザに翻訳結果を表示します。

● 訳語フォント

翻訳結果ページに表示する訳文のフォントサイズ、スタイル、色を設定します。

フォントサイズ	訳文のフォントサイズを設定します。原文を100%としてパーセンテージで指定しますが、fontタグでサイズが指定されていると、原文に対するパーセンテージとならない場合があります。
フォントスタイル	訳文のフォントスタイルを設定します。
フォントカラー	訳文の色を設定します。

● 制限事項

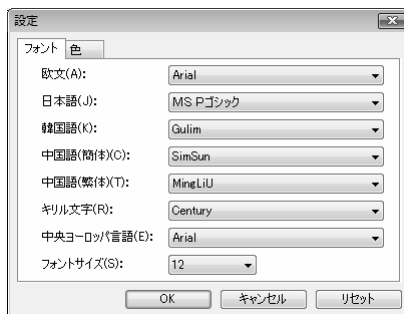
1. 翻訳対象はテキストデータのみです。画像やFlashなどを翻訳することはできません。
2. 翻訳結果の訳文において、フォームが正しく機能しない場合があります。
3. HTML形式以外で作成された文書の翻訳はできません。
4. Internet Explorerにgoogleツールバーをインストールしている場合、googleツールバーの[オプション] - [アクセサリ] - [ポップアップブロッカー]にチェックマークをつけてオンにすると、翻訳結果を新規ブラウザウィンドウで表示することができません。
5. JavaScriptとFlashの両方を使用しているページの場合、翻訳結果のページでFlashが再生されないことがあります。

6.4 メール翻訳の設定

ツールバーの〈設定〉をクリックすると、メール翻訳の設定ダイアログが開きます。ここではフォントや訳文の色を指定することができます。

•フォント

「フォント」タブでは、「原文」と「訳文」で使用するフォントを指定します。「フォント」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。



各言語の右端にある▼をクリックして表示される一覧からフォントを選択します。

•色

「色」タブでは、訳文の色を指定します。「色」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。



訳文色を示す四角形をクリックして表示される色の設定ダイアログから訳文の色を選択します。

6.5 PDFダイレクトファイル翻訳の設定

原文のPDFファイルに合わせて、翻訳の単位などを設定することで、より適切な翻訳を行うことができます。
名前を付けて保存ダイアログの〈設定〉をクリックすると、PDFダイレクトファイル翻訳の設定ダイアログが表示されます。



● 翻訳単位（ユニット）

翻訳の単位を指定します。

要素

原文PDFファイルデータの最小単位を指します。

行

「ユニットの区切り」と「ユニットの間隔」の「横方向」の条件で、「要素」を結合したものを指します。

ブロック

「ユニットの区切り」と「ユニットの間隔」の条件で、「行」を結合したものを指します。

● ユニットの区切り／ユニットの間隔

「翻訳単位（ユニット）」で、「行」と「ブロック」を選択した際に、区切りと間隔を指定します。

● 翻訳文フォント

訳文のフォントを指定します。設定を変更し〈プレビュー〉をクリックすると、原文の翻訳単位が表示されます。〈OK〉をクリックすると、名前を付けて保存ダイアログに戻ります。

● 制限事項

PDFダイレクトファイル翻訳は、原文のPDFファイルからテキストを抽出し、翻訳結果のPDFファイルを作成します。翻訳結果ではフォントの種類、サイズ、レイアウトなどを原文と同様にします。

ただし、PDFファイルが作成された環境や状態によって、以下のファイルは翻訳できなかったり、翻訳結果のレイアウトが保てない場合があります。

- セキュリティ保護機能が使われているPDFファイル
- しおり機能が使われているPDFファイル
- 複雑なレイアウトで構成されているPDFファイル（DTPソフトなどから作成されたPDFファイル）
- Adobe Acrobat5.0以前の環境でFlate（Zip）以外の圧縮方法（LZWなど）で作成されたPDFファイル
- Windows以外のOSで生成されたPDFファイル

PDFファイルが正しく翻訳できない場合は、Adobe AcrobatまたはAcrobat Readerのテキスト抽出機能を使用し、翻訳エディタの原文エリアに貼り付けて翻訳を行ってください。



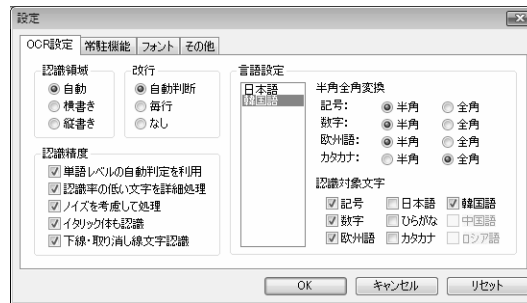
文字が画像データであるPDFファイルは翻訳できません。
透明テキストデータであるPDFファイルは、画像の上にテキスト文が表示されます。

6.6 ツールの設定

ここでは、キャプチャ翻訳の環境設定を中心に以下のツールの設定について説明します。

- キャプチャ翻訳
- ワンポイント翻訳

各ツールで[ツール]→[オプション]を選択すると、オプション設定ダイアログが表示されます。



6.6.1 OCR設定 キャプチャ翻訳のみ

「OCR設定」タブでは、文字認識の対象である領域の文字の方向、認識する言語、認識結果の処理方法などについて設定します。

- **認識領域**

認識対象とする文字の方向が横書きか縦書きか指定します。

- **改行**

画像文書での改行に対し、認識結果に改行記号を追加するか、または自動的に判断するかを設定します。

- **領域精度**

単語レベルの自動判定を利用

このチェックボックスがオンの場合、文字認識時、システムが保持している辞書を参照して文字の並び（スペルチェック）を解析し、誤認識を検出します。

認識率が低い文字を詳細処理

このチェックボックスがオンの場合、認識できない画像パターンに対して、いくつものパターンと比較して認識結果を出力します。

ノイズを考慮して処理

原稿にノイズが多い場合に、このチェックボックスをオンにします。

イタリック体も認識

原稿にイタリック体が含まれている場合に、このチェックボックスをオンにします。

下線・取り消し線文字認識

原稿に下線・取り消し線文字が含まれている場合に、このチェックボックスをオンにします。

● 言語設定

文字認識エンジンの言語ごとの設定を行います。文字認識エンジンの言語は、「エンジン」に設定されている原語です。「エンジン」が「韓国語 - 日本語」の場合は「韓国語」、「日本語 - 韓国語」の場合は「日本語」を選択します。

半角全角変換

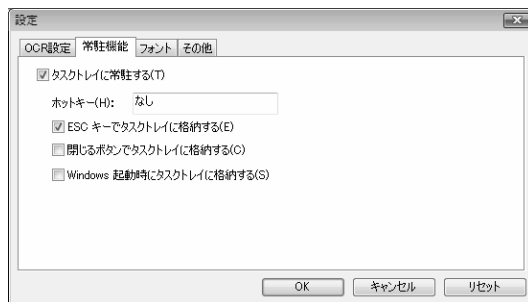
各文字について、全角で出力するか半角で出力するか指定します。

認識対象文字

認識を行う記号と文字を指定します。

6.6.2 常駐機能

「常駐機能」タブでは、タスクトレイに常駐させる設定を行えます。「常駐機能」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。



● タスクトレイに常駐する

タスクトレイを使うかを指定します。このチェックボックスがオンの場合、キャプチャ翻訳を最小化すると非表示になり、タスクトレイに格納されます。また、以下の設定を行うことができます。

ホットキー

タスクトレイにあるキャプチャ翻訳をキー操作で呼び出すためのホットキーを設定します。

ESCキーでタスクトレイに格納する

このチェックボックスがオンの場合、ESCキーを押すと、キャプチャ翻訳は最小化してタスクトレイに格納されます。

閉じるボタンでタスクトレイに格納する

このチェックボックスがオンの場合、キャプチャ翻訳の閉じるボタン（☒）をクリックすると、最小化してタスクトレイに格納されます。

Windows起動時にタスクトレイに格納する

このチェックボックスがオンの場合、Windows起動時にキャプチャ翻訳が起動します。



【タスクトレイからの取り出し】

タスクトレイに格納されている場合、タスクトレイアイコンをクリックすると、キャプチャ翻訳を表示することができます。

● タスクトレイについて

タスクトレイはタスクバーの右端に配置され、起動中のツールのアイコンを表示することができます。たとえば高麗でキャプチャ翻訳をタスクトレイに常駐させると、次のとおりに表示されます。



アクティブでないインジケータが隠れてしまい表示されない場合は、通知領域にある△をクリックして、通知領域を拡大し、表示されるアイコンをクリックして選択します。

6.6.3 フォント

「フォント」タブでは、「原文」と「訳文」で使用するフォントを指定します。「フォント」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。

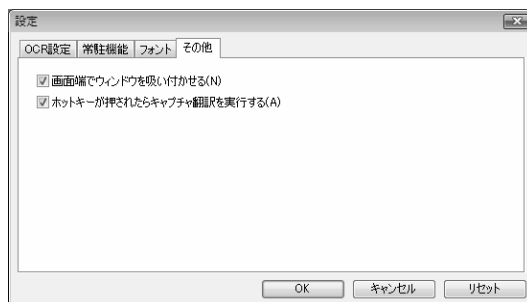


各言語の右端にある▼をクリックして表示される一覧からフォントを選択します。

6.6.4 その他

「その他」タブでは、キャプチャ翻訳ウィンドウの配置方法と翻訳を実行するタイミングを指定します。

「その他」タブをクリックすると次のダイアログが表示されます。



- 画面端でウィンドウを吸い付かせる

このチェックボックスがオンの場合、ウィンドウを移動すると画面からはみ出さず、画面の端に配置されます。

- ホットキーが押されたらキャプチャ翻訳を実行する（キャプチャ翻訳の設定）

このチェックボックスがオンの場合、「常駐機能」タブで設定した「ホットキー」を押下するとキャプチャ翻訳を呼び出すことができます。

- ホットキーが押されたらクリップボード翻訳を実行する（ワンポイント翻訳の設定）

このチェックボックスがオンの場合、このチェックボックスがオンの場合、「常駐機能」タブで設定した「ホットキー」を押下すると、クリップボードに保存されているテキストを翻訳します。

ウィンドウをアクティブにする

このチェックボックスがオンの場合、「常駐機能」タブで設定した「ホットキー」を押下すると、ウィンドウが最前面に表示されます。

付録

付録1 Officeの起動時に「セキュリティの警告」

Microsoft Officeのアプリケーションで「セキュリティの警告」が表示される場合があります。Microsoft Officeでは、マクロ・ウィルス対策のために、認証されたマクロでない場合に、この警告を表示するようになりました。この警告を表示させないために以下の手順を試してください。

Microsoft Officeのアプリケーションを起動後、「セキュリティの警告」が表示される場合、「この作成者のマクロを常に信頼する」をオンにし、〈マクロを有効にする〉をクリックすると、以後、「セキュリティの警告」は表示されません。

「この作成者のマクロを常に信頼する」をオンにできない場合は、以下の手順をお試しください。ここではWordで表示された場合について説明していますが、Excel、PowerPointの場合の操作も同じです。

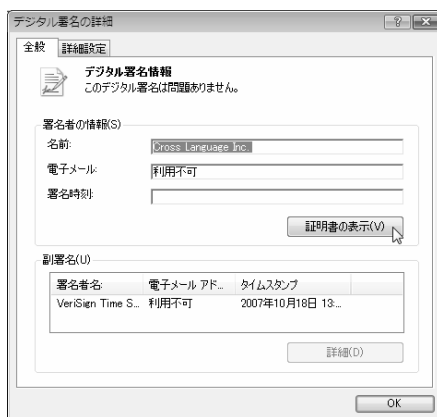
手順

1. 〈詳細〉をクリックします。



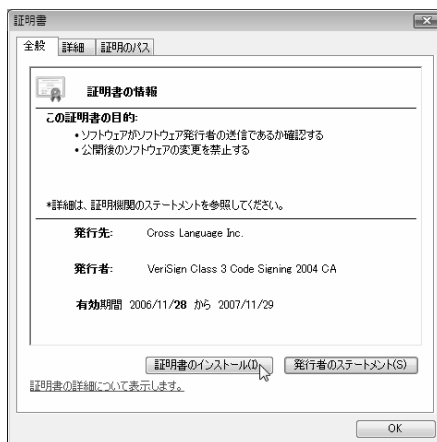
デジタル署名の詳細が表示されます。

2. 〈証明書の表示〉をクリックします。



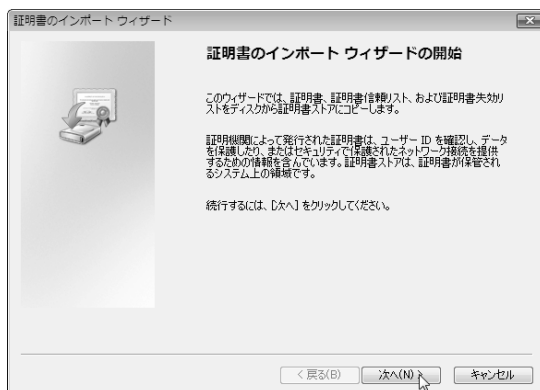
証明書が表示されます。

3. 〈証明書のインストール〉をクリックします。

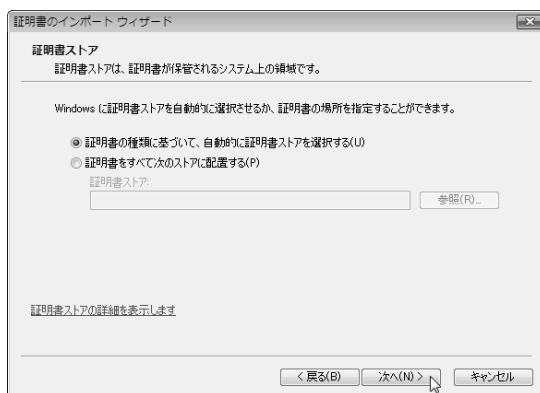


証明書のインポートウィザードが開始されます。

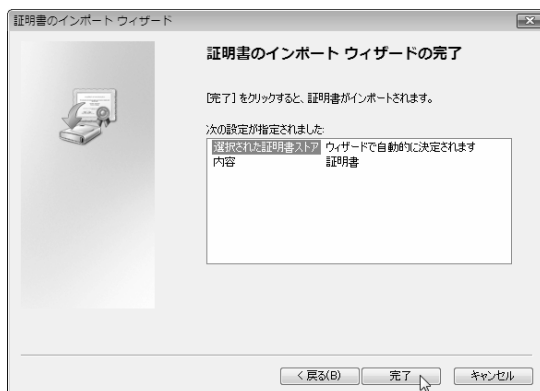
4. 〈次へ〉をクリックします。



5. 「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」をオンにし、〈次へ〉をクリックします。



6. 〈完了〉をクリックします。



ルート証明書ストアが表示されます。

7. 〈はい〉をクリックします。



8. 証明書ダイアログとデジタル署名の詳細ダイアログを閉じてください。
最初のセキュリティの警告ダイアログを閉じて、Wordを終了してください。
9. Wordを再起動してください。
10. Word起動後、「セキュリティの警告」が表示されますが、「この発行者のマクロを常に信頼する」チェックボックスをオンにし、〈マクロを有効にする〉をクリックすると完了です。



次回起動から「セキュリティの警告」は表示されなくなります。



セキュリティレベルが「最高」と設定されている場合、高麗が提供するマクロを使用することはできません。高麗が提供するマクロを使用する場合は、セキュリティレベルを「高」以下に設定してください。

付録2 韓国語IMEの設定

高麗で韓国語を入力するためには、韓国語IMEを設定する必要があります。
ここでは、OSごとに韓国語IMEの設定方法について説明します。

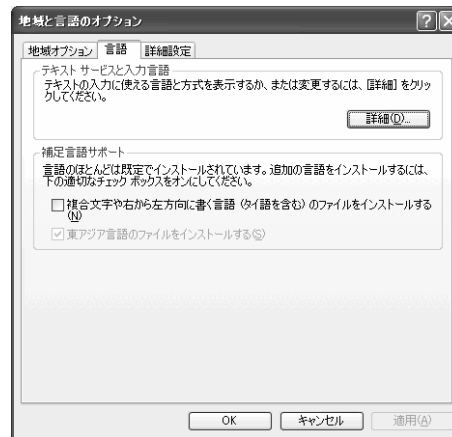
2-1 Windows XPの場合

以下の手順で、IMEを設定します。

手順

1. コントロールパネルの「地域と言語のオプション」を開き、「言語」タブをクリックします。

次のダイアログが表示されます。



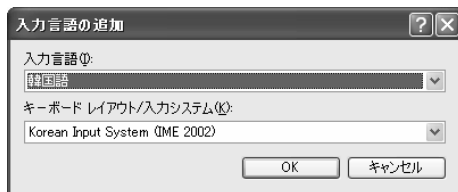
2. ダイアログ上部の「テキストサービスと入力言語」の「詳細」をクリックします。

テキストサービスと入力言語ダイアログが表示されます。



3. 〈追加〉をクリックします。

入力言語の追加ダイアログが表示されます。



4. 「入力言語」から「韓国語」を選択し、〈OK〉をクリックします。

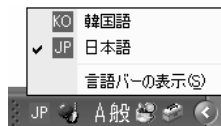
「テキストサービスと入力言語」ダイアログに戻り、「インストールされているサービス」に韓国語が追加されていることが確認できます。



〈OK〉をクリックすると、設定が適用されます。

5. 言語バーの「JP」をクリックします。

使用可能な入力言語が表示されます。



6. 「韓国語」を選択します。

言語バーが切り替わります。



これで、韓国語を入力するための設定が終了しました。

韓国語IMEの操作方法については、Windowsのヘルプを参照してください。

2-2 Windows 7/Vistaの場合

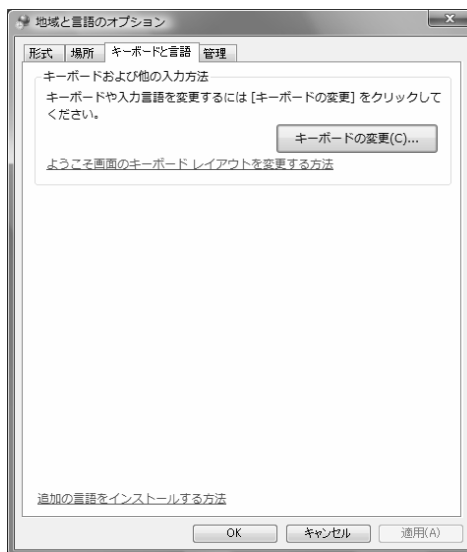
以下の手順で、IMEを設定します。

手順

1. コントロールパネルの「地域と言語」を開き、「キーボードと言語」タブをクリックします。

Vistaの場合は、「時計、言語、および地域」の下にある「キーボードまたは入力方法の変更」を開き、「キーボードと言語」タブをクリックします。

次のダイアログが表示されます。



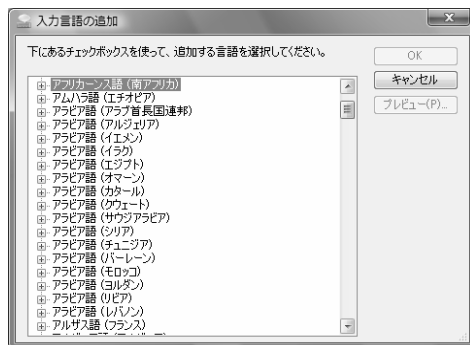
2. 「キーボードの変更」をクリックします。

「テキストサービスと入力言語」ダイアログが表示されます。

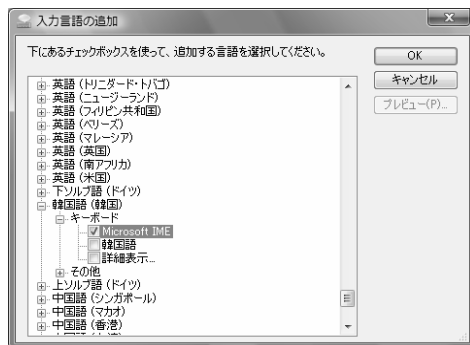


3. 「追加」をクリックします。

「入力言語の追加」ダイアログが表示されます。



4. 「入力言語」から「韓国語」を選択します。



5. 〈OK〉をクリックします。

「テキストサービスと入力言語」ダイアログに戻り、「インストールされているサービス」に韓国語が追加されていることを確認することができます。



〈OK〉をクリックすると、設定が適用されます。

6. 言語バーの「JP」をクリックします。

使用可能な入力言語が表示されます。

7. 「韓国語」を選択します。



言語バーが韓国語入力に切り替わります。

これで、韓国語を入力するための設定が終了しました。

韓国語IMEの操作方法については、Windowsのヘルプを参照してください。

付録3 日韓翻訳のコツ

ここでは、高麗で日本語を韓国語に翻訳する際のヒントをご紹介します。

● 原文はなるべく漢字で書く

単語がひらがなで書かれていると、訳語の登録がなく、訳されない場合があります。原文の日本語は、なるべく漢字で書きます。

【例】

原文1

涙がほほに流れる。

訳文1

눈물에 흐른다.

修正した原文2

涙が頬に流れる。

訳文2

눈물이 뺨에 흐른다.

● 訳文の中で、余分な句点は省く

韓国語では、たとえば色の種類などを羅列するときや、複数の節を含むときには「,」を使いますが、それ以外の場合には使用しません。

高麗では日本語の句点はそのまま「,」に置き換わりますので、翻訳後に不要な「,」を削除すると、より自然な韓国語になります。

【例】

原文

韓国では、外来語を韓国語表記することが多く、赤はレッド、茶色はブラウンと表記します。

訳文

한국에서는 외래어를 한국어 표기하는 것이 많아, 빨강은 레드, 갈색은 브라운이라고 표기합니다.

↓

修正した訳文

한국에서는 외래어를 한국어 표기하는 것이 많아 빨강은 레드, 갈색은 브라운이라고 표기합니다.

付録4 カタカナ／アルファベット変換について

高麗のカタカナ変換、アルファベット変換は、下の表に従って韓国語の読みを変換しています。ただし、連音化する語については、必ずしも下表のとおりには変換されません。

● 母音・子音の変換表

[illegible]

● パッチムの変換表

パッチム	ㄱ類	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㄷㄹ	ㄷㄷ		
アルファベット		k	k	k	k	k		
カナ		ク	ク	ク	ク	ク		
パッチム	ㄴ類	ㄴ	ㄴㄷ	ㄴㄹ				
アルファベット		n	n	n				
カナ		n	n	n				
パッチム	ㄷ類	ㄷ	ㄷㄹ	ㄷㄷ	ㄷㄷㄹ	ㄷㄷㄷ	ㄷㄷㄷㄹ	ㄷㄷㄷㄷ
アルファベット		t	t	t	t	t	t	t
カナ		t	t	t	t	t	t	t
パッチム	ㄷㄹ類	ㄷㄹ	ㄷㄹㄷ	ㄷㄹㄹ	ㄷㄹㄷㄹ	ㄷㄹㄷㄷ	ㄷㄹㄷㄷㄹ	ㄷㄹㄷㄷㄷ
アルファベット		l	l	l	l	l	l	l
カナ		ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
パッチム	ㄹ類	ㄹ	ㄹㄷ					
アルファベット	m	m	m					
カナ	「マ」行	ム	ム					
パッチム	ㄷㄷ類	ㄷㄷ	ㄷㄷㄹ	ㄷㄷㄷ	ㄷㄷㄷㄹ	ㄷㄷㄷㄷ		
アルファベット		p	p	p	p	p		
カナ		プ	プ	プ	プ	プ		
パッチム	ㅇ類	ㅇ						
アルファベット		ng						
カナ		ng						

索引

3		起動	14
3面モードでの右側言語フォント	62	翻訳言語の選択	14
E		無効	18
Excelの翻訳	16	有効	18
I		アルファベット変換	11, 83
Internet Explorer 8のアクセラレータで翻訳	22	アルファベット変換の設定	63
Internet Explorerアドイン翻訳	19	い	
M		一文翻訳	42
Microsoft Officeアドイン翻訳	14	う	
O		上書き保存	12, 49
OCR	31, 39	お	
OCR設定	69	音声保存	57
Officeのセキュリティの警告	73	音声読み上げ	57
Outlook Expressアドイン翻訳	26	オンラインヘルプ	3
P		か	
PDFダイレクトファイル翻訳	28	改行	69
制限事項	68	学習解除	8, 44
設定	67	カタカナ変換	11, 83
無効	29	韓国語IMEの設定	77
有効	29	韓国語音声保存	57
PowerPointの翻訳	17	韓国語音声読み上げ	57
W		「韓国語」タブ	63
Webページの翻訳	19	韓国語文法チェック	58
Windows Liveメールアドイン翻訳	26	韓国語文法チェックの設定	63
Windowsメールアドイン翻訳	26	韓⇄日対応	7
Wordの翻訳	15	き	
あ		キャプチャ翻訳	22, 30, 35
アップデート	60	中止	36
アップデートのお知らせ設定	60	認識可能な文字	37
アップデートの確認	60	認識言語	36
アドイン設定	14, 18	編集	37
アドイン翻訳		翻訳言語の指定	36
		け	
		言語設定	70
		検索	55

原文の削除..... 55

こ

高麗について..... 1

高麗の機能..... 1

し

ジャンプ..... 56

終了..... 5

常駐機能..... 70

す

「スタート」メニュー..... 4

スライド翻訳..... 14

せ

製品ラインナップ..... 3

セキュリティの警告..... 73

設定..... 31, 40

専門語辞書の設定..... 61

そ

その他..... 72

た

単語の対応..... 7, 43

ち

置換..... 56

つ

ツールの設定..... 69

ツールバーカスタマイズ..... 64

ツールバーカスタマイズ..... 64

て

テキストファイルの翻訳..... 6

テキストファイルの読み込み..... 41

テキストファイル読み込み時のモード..... 48

デスクトップのショートカット..... 4

な

名前を付けて保存..... 12, 49

に

日⇄韓対応..... 43

日韓日モードで翻訳..... 41

日韓翻訳のコツ..... 82

認識領域..... 69

は

バージョン情報..... 40

パッチムの変換表..... 84

ふ

ファイル

開く..... 6, 41

翻訳..... 6

ファイルの種類..... 49

ファイル翻訳..... 30, 32

ファイル翻訳の設定..... 34

フォント..... 71

「フォントと配色」タブ..... 62

フォントの設定..... 62

複数のファイルを翻訳する..... 32

複数文の翻訳..... 42

文書の書き出し..... 48

文書の読み込み..... 48

文法チェック..... 58

へ

ヘルプ..... 14

ほ

ホームページの翻訳

翻訳ツールバーの表示..... 19

翻訳言語リストの取得..... 20

ホームページの翻訳検索..... 22

ホームページ翻訳..... 19

Internet Explorer 8のアクセラレータで翻

訳..... 22

制限事項..... 65

設定..... 64

選択した文章の翻訳..... 22

翻訳ツールバーの表示..... 19

翻訳..... 54

翻訳エディタ..... 5, 32

翻訳エディタに文章を入力する	54
翻訳エディタの起動	4
翻訳エディタの終了	5
翻訳韓日ロック	53
翻訳結果が正しくない場合	22
翻訳結果の保存	12, 49
翻訳言語の切り替え	15
翻訳検索	22
翻訳検索の設定	24
翻訳ツールバーの表示	26
翻訳日韓ロック	53
翻訳の設定	61
翻訳の中止	7
翻訳パレット	30
起動	30
終了	31
並べ方	31
翻訳パレット入門	30
翻訳モード	5
翻訳モードの切り替え	5
翻訳ロック	53
翻訳ロック解除	53

め

メール翻訳	26
設定	66

も

モードの切り替え	5
----------------	---

や

訳語の学習	8, 44
訳語の対応	8
訳語の変更	43
訳語変更で訳文を再翻訳しない	13, 44
訳語変更を元に戻す	8, 44
訳文の削除	55

ゆ

ユーザー辞書	
単語の検索	50
単語の削除	52
保存場所	50
ユーザー辞書登録	9, 45
ユーザー辞書の更新	50

よ

読み上げ	57
------------	----

り

領域精度	69
------------	----

ろ

ロック	53
ロック解除	53

わ

ワークシート翻訳	14
分かち書き	58
ワンポイント翻訳	22, 30, 38

高麗 2011 for Windows

ユーザーズ・ガイド

〈ユーザーサポート〉

株式会社クロスランゲージ ユーザーサポート

E-mail : support@crosslanguage.co.jp

サポートページ <http://www.crosslanguage.co.jp/support/>

発行日	2011年 1月 （初版）
編集／発行	株式会社クロスランゲージ 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-4-5 共立ビル8階
ホームページ	http://www.crosslanguage.co.jp/